

**この度は、シチズンクォーツをお買い上げ
いただき厚くお礼申し上げます。この説明
書をよくお読みいただき、正しくお取扱い
くださいますようお願い申し上げます。**

目 次

A. この時計の具体的な使い方	6
B. 各部の名称	11
C. モードの切り替え方	12
D. この時計の受信機能について	13
1. 自動受信機能	13
〔受信しやすい方向を見つけるための機能〕…指向性チェック機能について	15
2. 強制受信機能〔自動受信時間外に受信する機能〕	18
3. 受信の解除	21
4. 受信結果確認機能	22
5. 日本に於ける受信についてのご注意	23
6. 受信が困難な場所について	25
7. 受信可能地域を目安	26
8. 上手に受信をするためには	28
E. サマータイム機能	29

F. 手動による時刻の修正方法	31
G. 手動によるカレンダーの修正方法	33
H. ローカルタイムの使い方 (L-TM)	36
I. アラームの使い方 (ALM)	39
J. ゼロ位置確認モードについて	44
K. 製品仕様	50
L. こんなときには…	52
M. 取扱い上のご注意	56
N. 保証とアフターサービス	62
O. シチズンサービスセンター	65

■この時計は次の3つの地域日本・中部ヨーロッパ・英国で標準時刻電波を受信する装置が内蔵された多局受信型電波時計です。

■この時計は毎日1回、比較的電波の状態が安定している夜中か早朝に自動的に電波の受信を始めて時刻合わせをしてくれます。



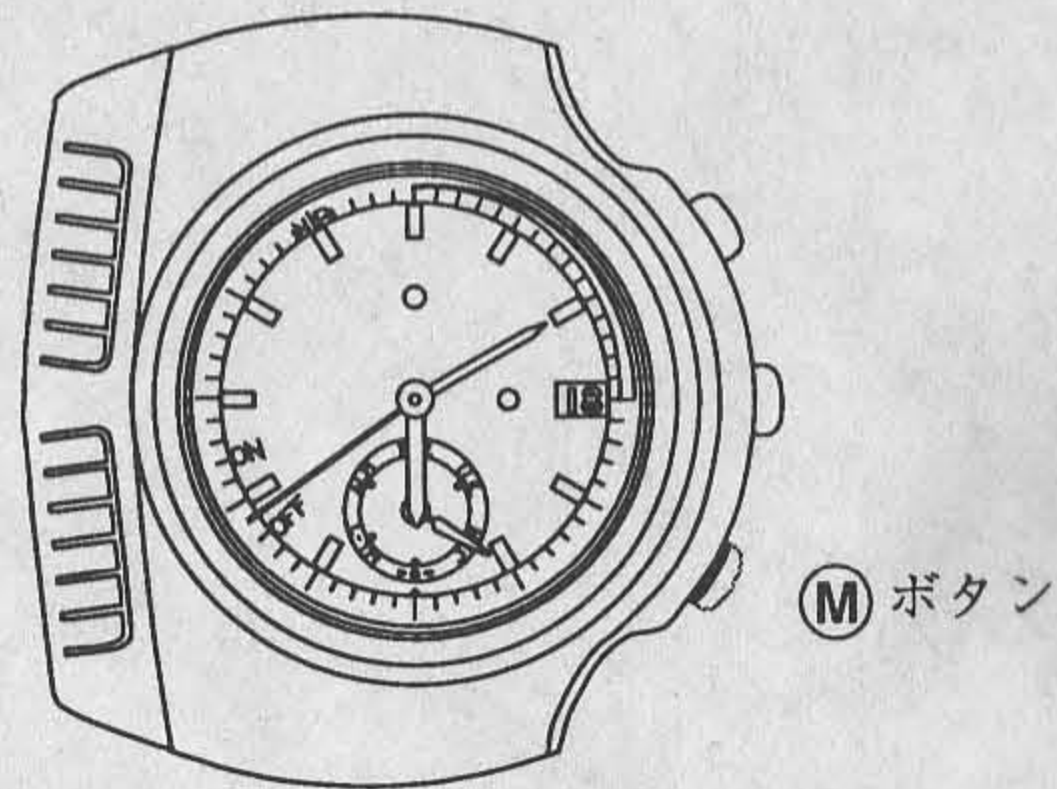
A. この時計の具体的な使い方

・この電波時計の使い方が理解しやすいように、基本的な機能について説明しましょう。

- ①ヨーロッパ、イギリス、日本のうち、自分が今どの標準時刻電波の受信可能地域なのか、モードを選んでください。詳しくは、【C. モードの切り替え方】、受信可能地域については【D. 7 受信可能地域の日安】をご参照ください。

例えば…

日本ならば、**(M)** ボタンを押してJPNモードにしてご使用ください。



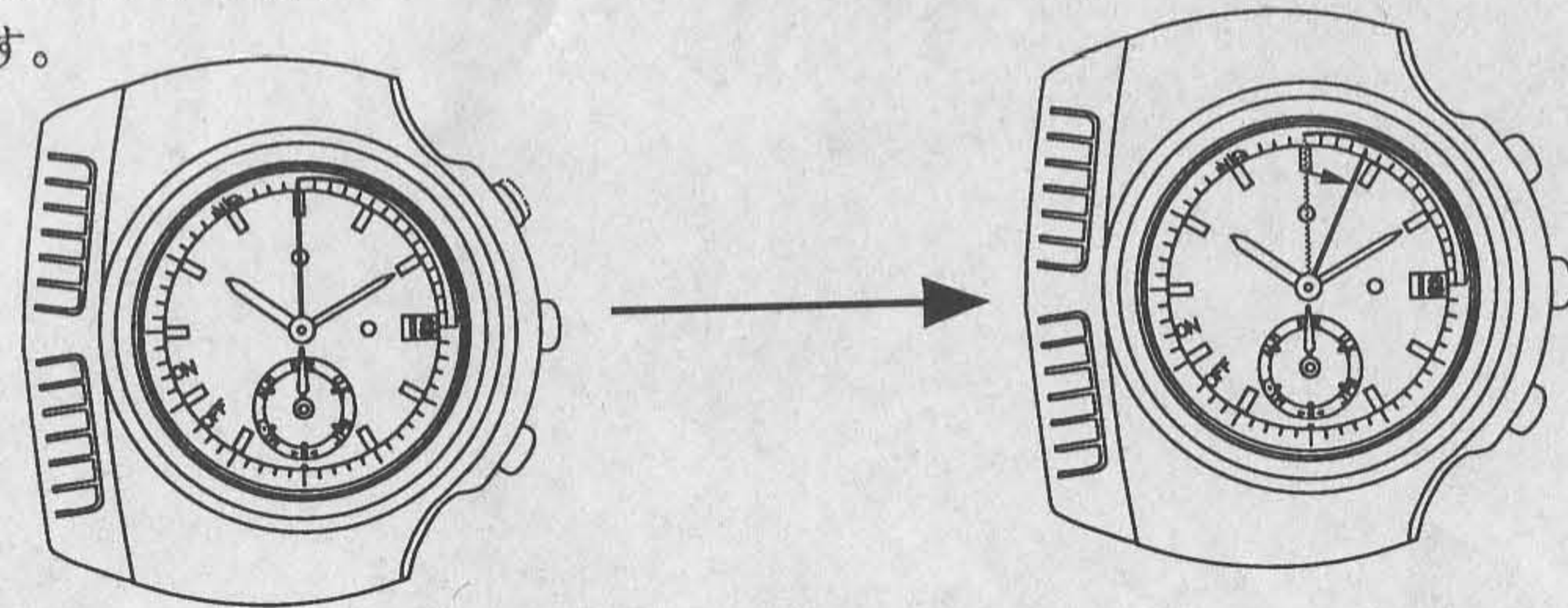
- ②電波の受信しやすい場所を探してください。

この時計の受信機能を効率良く使用するために、時計についているアンテナを電波の受信しやすい方向に向けてあげます。家の中で一箇所電波の受信しやすい場所を探しておくと便利です。（詳しくは【D. この時計の受信機能について】をご参照ください。）

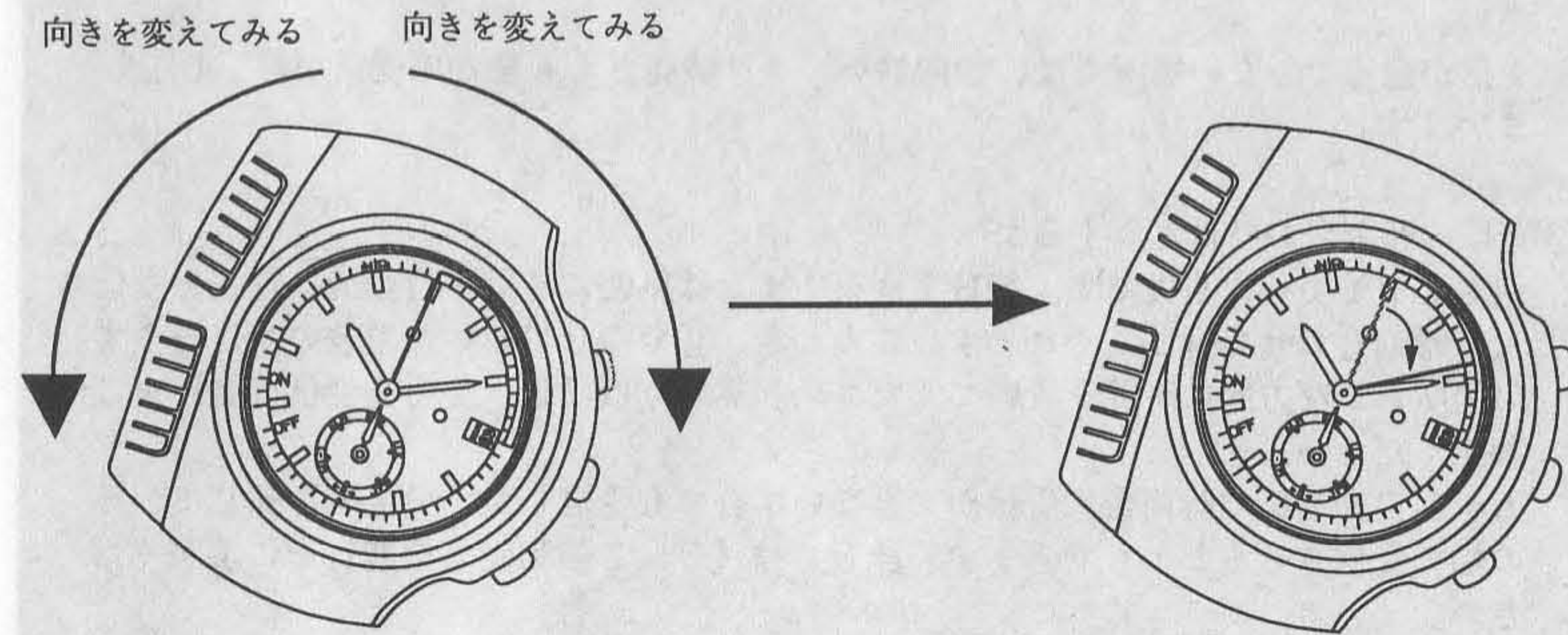
例えば…

電波をさえぎりそうな、金属の箱の中や電気製品の近くでは電波の受信がとても難しい環境といえます。家の中ならば、回りに電気製品等の少ない窓際などをおすすめします。

いろいろな場所で、【D-1. 指向性チェック機能】を使い受信可能な場所を探しだしてください。受信中は、時計をあまり動かさないようにすると、安定して受信が行えます。



時計の向きを変えて、数回強制受信機能をやり直して、さらに秒針が大きく振れる場所及び時計のアンテナの向きを探しだしてください。

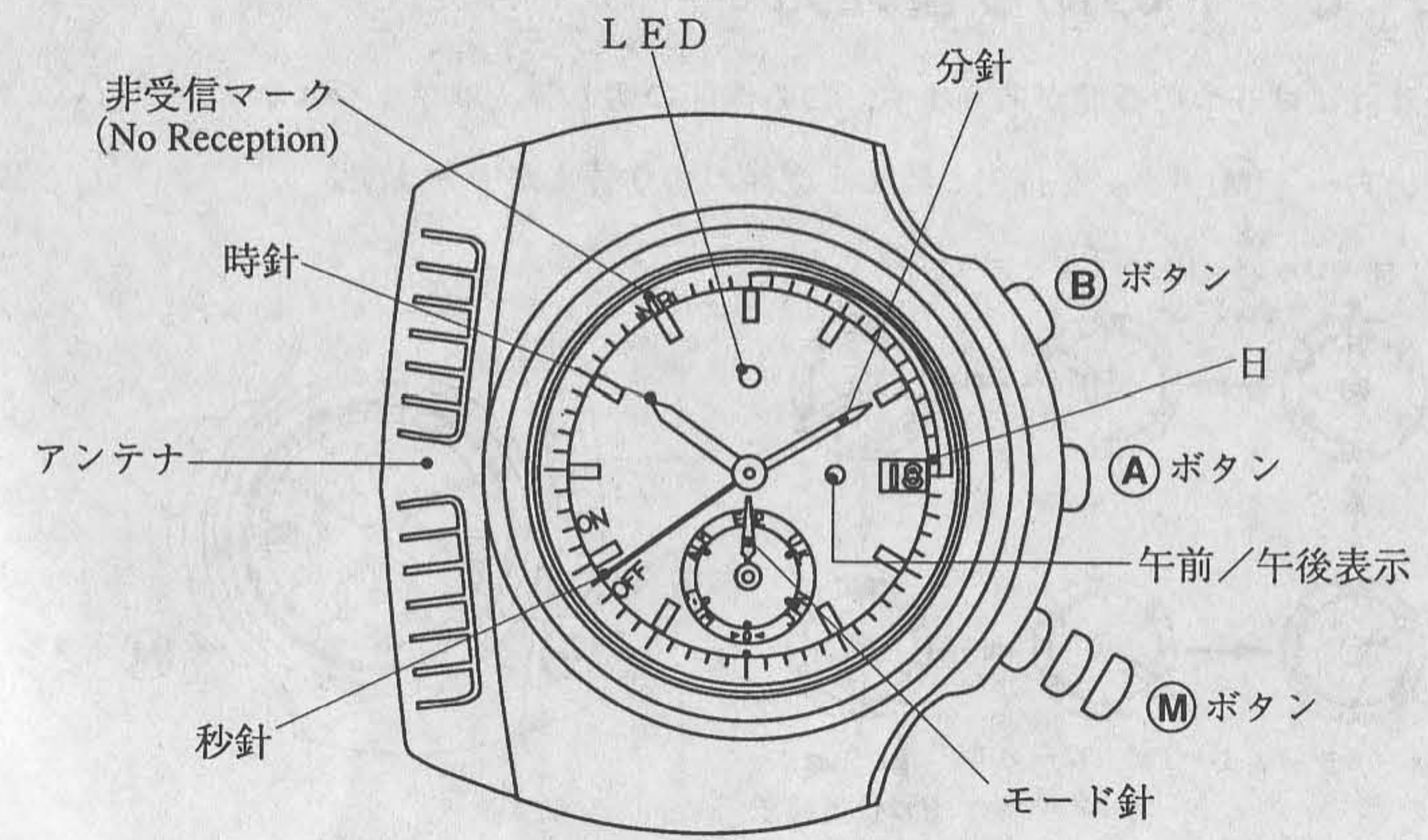


- ・指向性チェック機能のあとに、受信状態が安定するとLEDが3秒間隔で点滅をはじめます。
一度受信が安定したとしても、何らかの原因で受信が不安定になり受信が中断される場合があります。その時は、再度受信しやすい場所を探し直す等をしてください。
- ・受信が全くできない場所では、指向性チェック機能さえも働かず受信が終了してしまいます。

③普段の時刻合わせはどうするか
何もしなくても大丈夫です。毎日1回夜中または早朝に時計が自動的に電波を受信して時刻合わせを行ってくれます。このとき、②で探しておいた電波の受信しやすい場所および方向に時計を置いてください。詳しくは【D. 1 自動受信機能】をご参照ください。

万一、自動受信の時間帯に受信ができない場合でも受信しやすい場所を探して、その場で受信させることもできます。詳しくは【D. 2 強制受信機能】をご参照ください。

B. 各部の名称

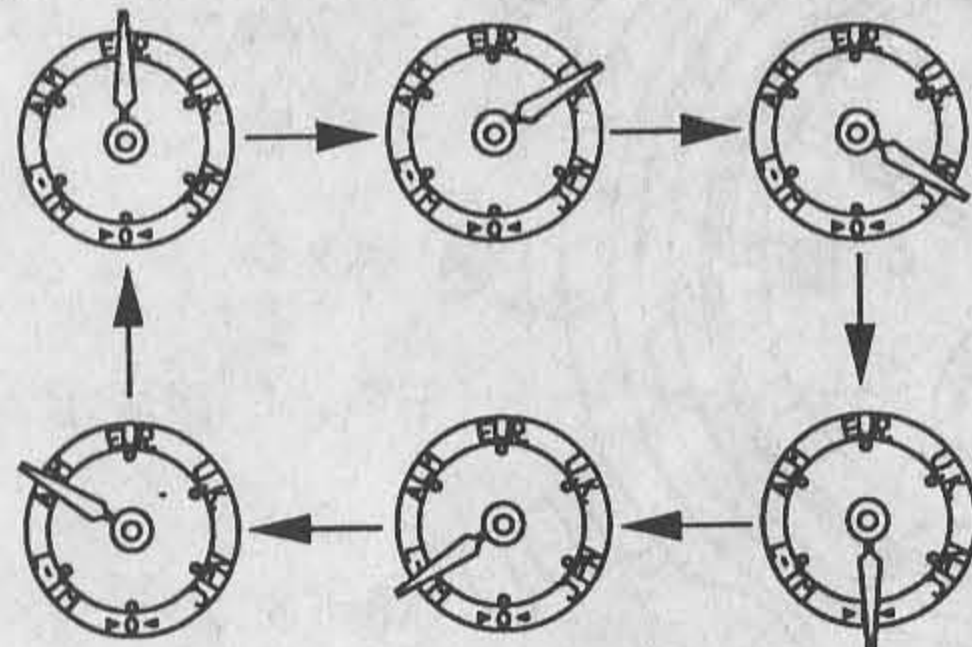


C. モードの切り替え方

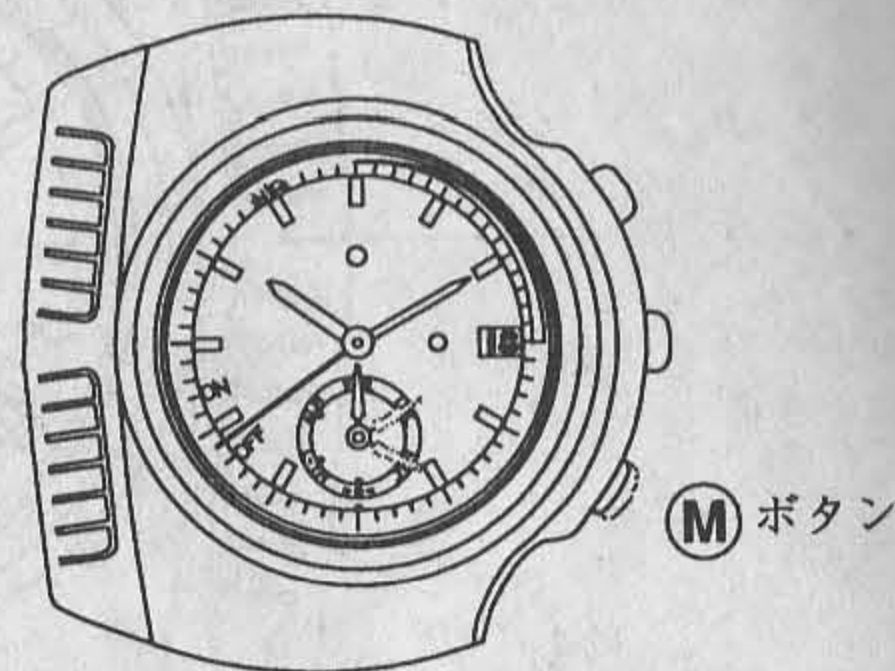
この時計には6つの機能があります。この機能の切り替えはプッシュボタンで行います。

～使い方～ (M) ボタンを押すと順に6機能の切り替えができます。

EUR: ヨーロッパ UK: イギリス JPN: 日本



ALM: アラーム L-TM: ローカル
タイム ▶ 0 ◀: ゼロ位置確認



D. この時計の受信機能について

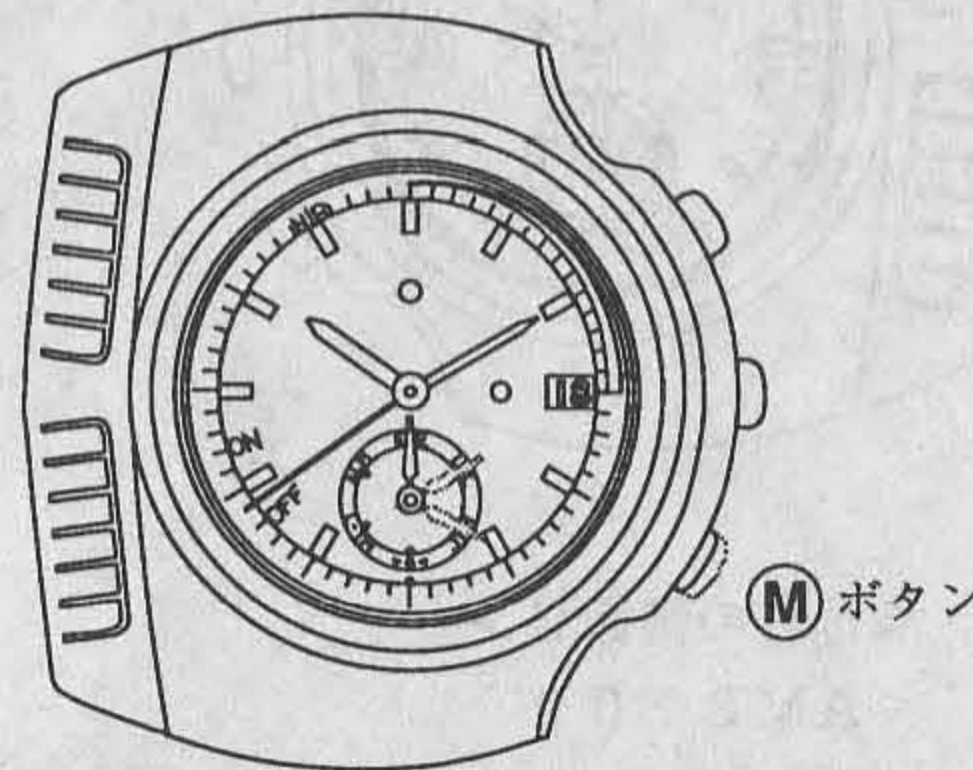
1. 自動受信機能

普段はなにもしなくても、時刻合わせは時計が自動的に行ってくれます。

この時計は毎日1回、比較的電波の状態が安定している夜中か早朝に自動的に電波の受信を始めて時刻合わせを行います。

～使い方～

- ① EUR/UK/JPNモードのいずれかで行います。(M) ボタンを押して適切な地域を選んでください。



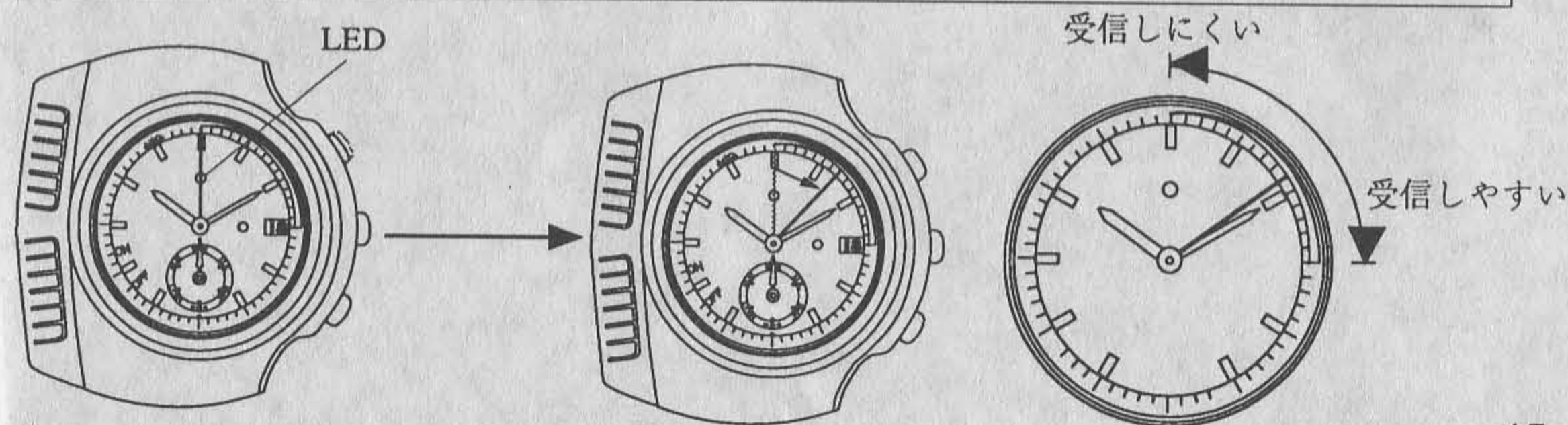
②毎日午前2時～午前4時の間に1回、自動的に受信を行います。

（ご注意）

サマータイムの開始及び終了の切り替え時刻は、地域により異なる場合があります。自動受信終了後に切り替えが行われた場合は、再度受信を行うか手動にて時刻を合わせ直してください。

③受信開始後しばらくすると、【指向性チェック機能】が働き秒針が0秒位置～15秒位置のどこかに停止します。このとき目安として、秒針が大きく右に動くほど時計のアンテナが受信しやすい方向に向いていると考えてください。

—【指向性チェック機能について】—
この時計の受信機能を効率良く使用するために、時計についているアンテナを電波の受信しやすい方向に向けてあげることが必要です。その方向の探し方の一つとして、この機能を使用すると簡単に電波の受信しやすい方向の目安をつけることができます。ただし、ノイズ等の影響により、針が大きく振れることがあります。その場合は、受信できません。



- ・一度受信が安定したとしても、何らかの原因で受信が不安定になり受信が中断される場合があります。その時は、再度受信しやすい場所を探し直してみてください。
- ・受信が全くできない場所では、指向性チェック機能さえも働かず受信が終了してしまいます。
- ・受信中は、時計のアンテナの向きをあまり動かさないようにすると、安定して受信が行えます。
- ・受信にかかる時間は、約2分～8分です。受信結果にかかわらず受信が終了すると通常表示に戻ります。

- ④日中のうちに強制受信機能を使って、一番受信しやすい方向を探しておきます。
そして、就寝前にその場所に時計を置くとより確実に受信が行えます。

☆受信ができなくなった場合でも、時計は受信前の時刻、カレンダー情報を継続して表示いたしますのでご安心ください。

2. 強制受信機能

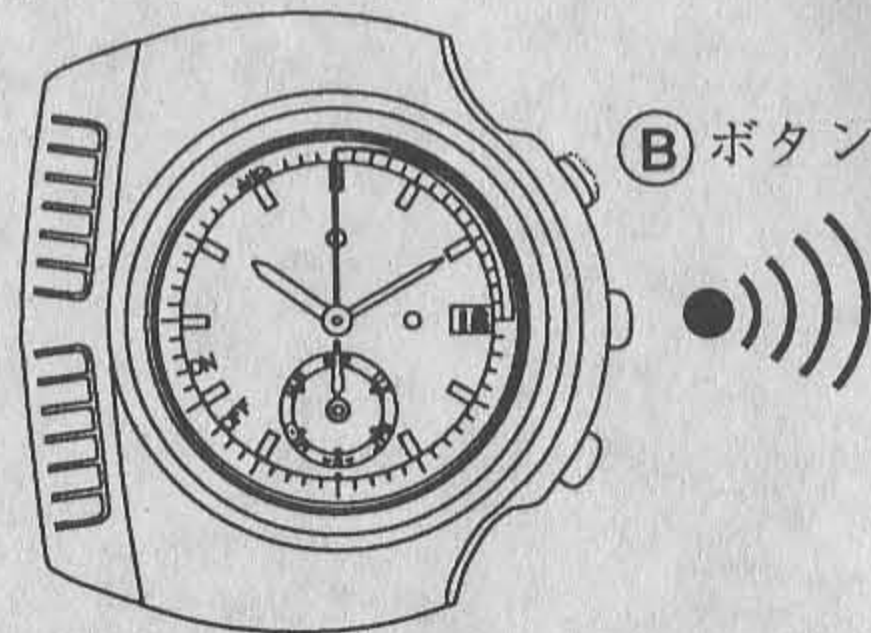
万一、自動受信の時間帯に受信ができない場合でも強制的に受信させることもできます。

～使い方～

① EUR/UK/JPNモードのいずれかで行います。Ⓜ ボタンを押して選んでください。



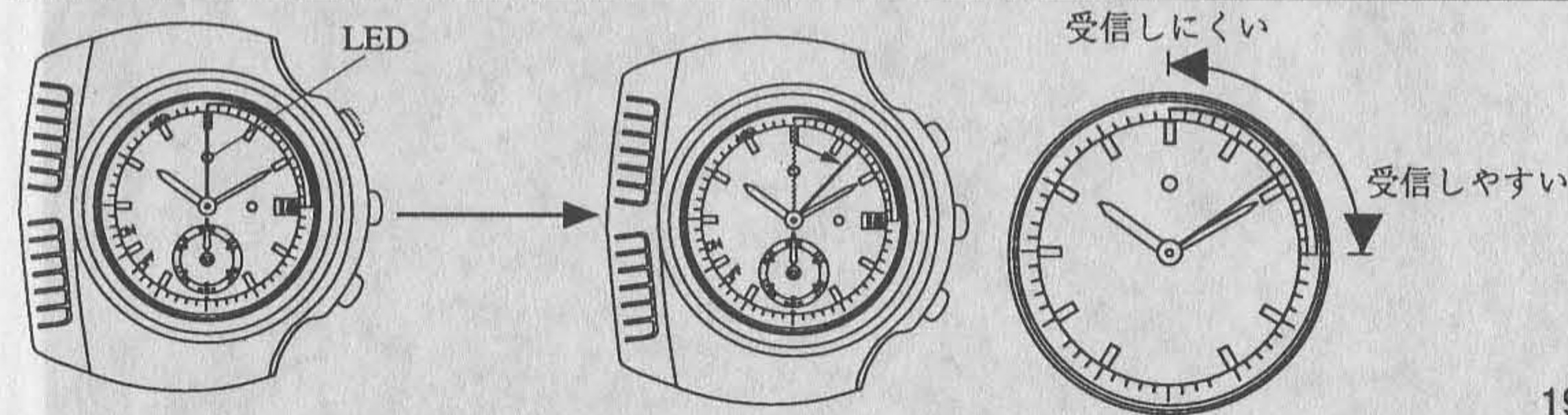
② 強制受信機能を働かせます。ⓑ ボタンをピッ！という確認音がするまで押し続けて離します。秒針が0秒位置に停止します。



③ 受信開始後しばらくすると、【指向性チェック機能】が働き秒針が0秒位置～15秒位置のどこかに停止します。このとき目安として、秒針が大きく右に動くほど時計のアンテナが受信しやすい方向に向いていると考えてください。

【指向性チェック機能について】

この時計の受信機能を効率良く使用するためには、時計についているアンテナを電波の受信しやすい方向に向けてあげることが必要です。その方向の探し方の一つとして、この機能を使用すると簡単に電波の受信しやすい方向の目安をつけることができます。ただし、ノイズ等の影響により、針が大きく振れることがあります。その場合は受信できません。



- ・一度受信が安定したとしても、何らかの原因で受信が不安定になり受信が中断される場合があります。その時は、再度受信しやすい場所を探し直してみてください。
- ・受信が全くできない場所では、指向性チェック機能さえも働かず受信が終了してしまいます。
- ・受信中は、時計のアンテナの向きをあまり動かさないようにすると、安定して受信が行えます。
- ・受信にかかる時間は、約2分～8分です。受信結果にかかわらず受信が終了すると通常表示に戻ります。

- ④一番受信しやすい方向を探してから受信を行うと、より確実に受信が行えます。

☆受信ができなかった場合でも、時計は受信前の時刻、カレンダー情報を継続して表示いたしますのでご安心ください。

3. 受信の解除

- 各受信モードで、自動受信または強制受信を行っている時に受信状態を解除するには
- Ⓜ ボタンでモードを切り替えるか、その他いずれかのボタンを1秒以上押してください。

4. 受信結果確認機能

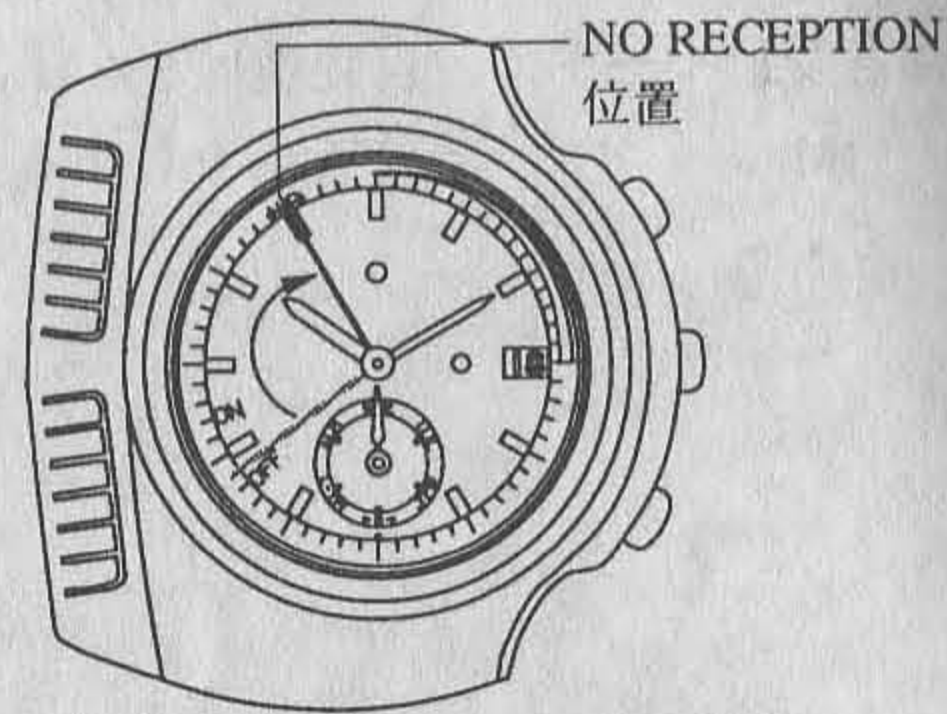
自動受信、強制受信それぞれの最新の受信結果を確認することができます。

～使い方～

- ①EUR、UK、JPNのモードでのみ確認できます。
- ②**②** ボタンを押してください。



- ③その結果、秒針がNO RECEPTIONの位置を指したときは受信できなかったことを示します。



[受信できなかったとき]

秒針が0秒位置～15秒位置のどこかを指し、指向性チェック確認の結果が表示されて、LEDが点滅しているときは受信ができたことを示します。



[受信できたとき]

5. 日本に於ける受信についてのご注意

この時計が受信している日本の標準時刻電波は、郵政省通信総合研究所が実験局を使い実験的に送信している電波のため、現在の形式のまま恒久的に継続されるかどうかの保証はありません。

ただし、将来送信が中止あるいは送信形式・内容が変更されたとしても通常のクォーツウォッチ（精度：月差±15秒以内）としてご使用になれます。

また、この時計には、中部ヨーロッパや英国の標準時刻電波を受信することもできますので、これらの受信地域では電波時計としてご使用になれます。

☆受信上の注意☆

- ・日本の標準時刻電波は、原則的に24時間いつでも受信することができます。ところがJG2ASのコールサインのため、毎時15分と45分からの1分間と、その他、必要に応じて随時標準時刻電波が中断し、受信できなくなることがあります。
- ・日本で受信した場合のみ、時刻合わせは行われますが、カレンダー合わせは行われません。カレンダーは手動で合わせてください。ただし、他の受信地域で、受信によるセットや手動による時刻・カレンダーセットを行った場合は、『JPNモード』でのこの操作は不要となります。

6. 受信が困難な場所について

電波ノイズを発生させるものの近くでの受信はお避けください。よって、以下のような環境条件下ではきちんと受信できないことがあります。

- ①ビルの中やビルの谷間
- ②車、電車、飛行機の中
- ③高圧線、電車の架線の近く
- ④テレビ、冷蔵庫等、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く

以上のような環境下の場合は、受信環境の良い場所を探し受信をやり直してください。

7. 受信可能地域を目安

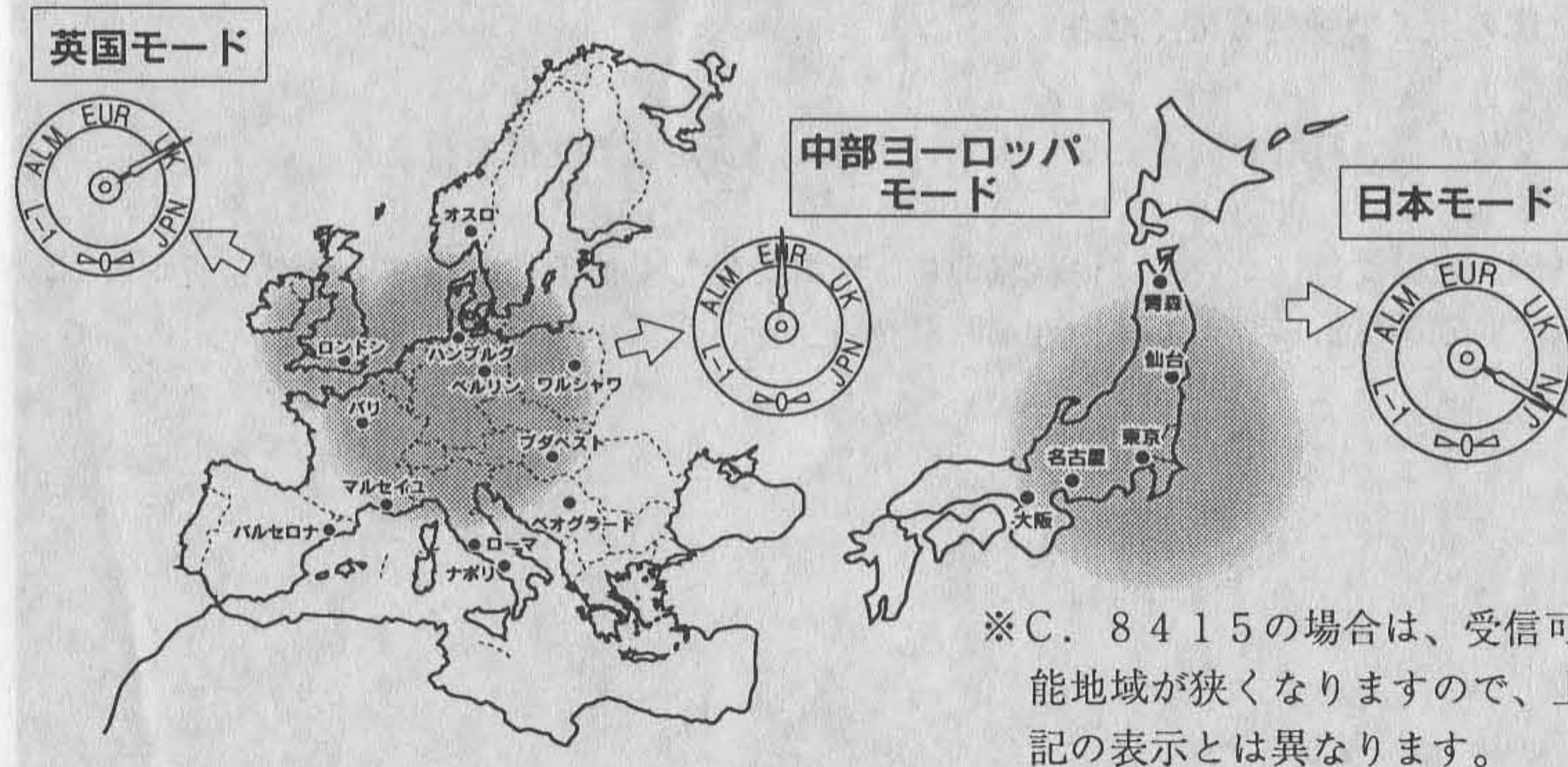
この時計による、標準時刻電波の受信可能地域を目安は下表の通りです。

ただし、時間帯や季節変化による受信環境の違いによっては、受信可能地域が変化する場合があります。

各受信モード	標準時刻電波 送信局	送信所所在地	受信可能地域を目安	
			C. 8410	C. 8415
EUR (中部ヨーロッパ)	DCF77	ドイツ MAINFLINGEN (フランクフルト南東25Km)	半径約900Km (スイスのレマン湖周辺 では、きちんと受信でき ない場合があります。)	半径約900Km (スイスのレマン湖周辺 では、きちんと受信でき ない場合があります。)
UK (英国)	MSF	英国RUGBY	半径約500Km	半径約500Km
JPN (日本)	JG2AS	茨城県三和町	半径約500Km	半径約500Km

受信可能地域を目安 (C. 8410の場合)

この地図はあくまでも目安ですので、下図のように受信できない場合もあります。



8. 上手に受信するためには

・電波は、金属の遮蔽物によりさえぎられますので、鉄筋コンクリートの建物等では、窓の近くで受信してください。

・受信中は、時計を動かさないようにすると、安定して受信を行えます。

(例) 自動受信については…就寝前に、時計を外し受信条件の良さそうな場所へ置く。
強制受信については…一端時計を外すか、受信中アンテナの向きを一定にしておく。

E. サマータイム機能

この時計は、EUR、UK、JPN、L-TMモードでサマータイム切り替えができます。

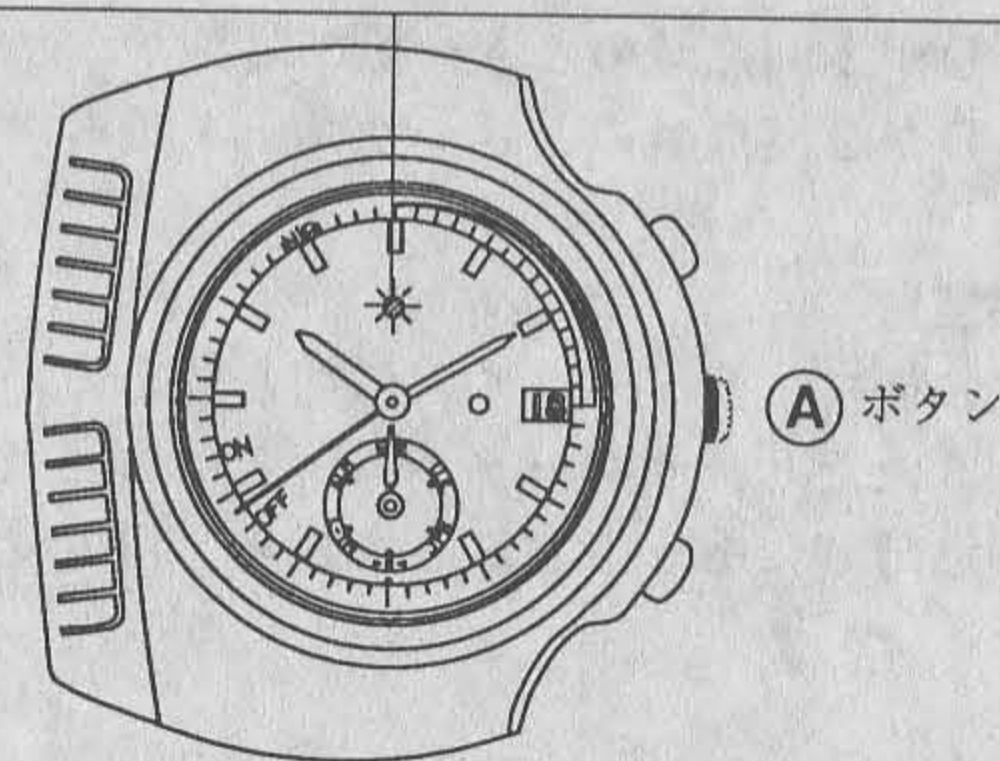
～サマータイム確認機能～

この機能は、今表示している時刻がサマータイムなのか標準時刻なのかを見分けるための機能です。

(LED点滅の意味)

LEDが1回点滅のとき…標準時刻を表示しています。

LEDが2回点滅のとき…サマータイムを表示しています。



EUR、UK、JPN、L-TMモードで

Ⓐ ボタンを押してください。

～サマータイムワンタッチ切り替え～

- ① **(M)** ボタンを押して、EUR、UK、JPN、L-TMの中でサマータイムに切り替えたいモードにしてください。
- ② **(A)** ボタンを2秒以上押してから離すと、1回または2回LEDが点滅してサマータイムのセットまたは解除ができます。

(LED点滅の意味)

LEDが1回点滅のとき…標準時刻からサマータイムへの切り替え

LEDが2回点滅のとき…サマータイムから標準時刻への切り替え

(注意)

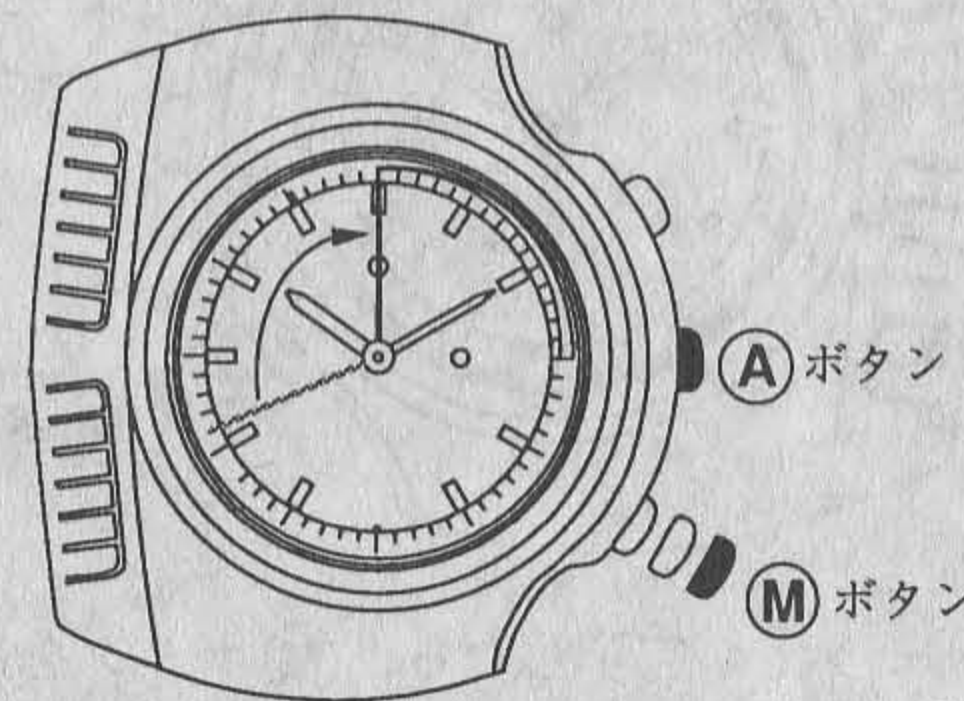
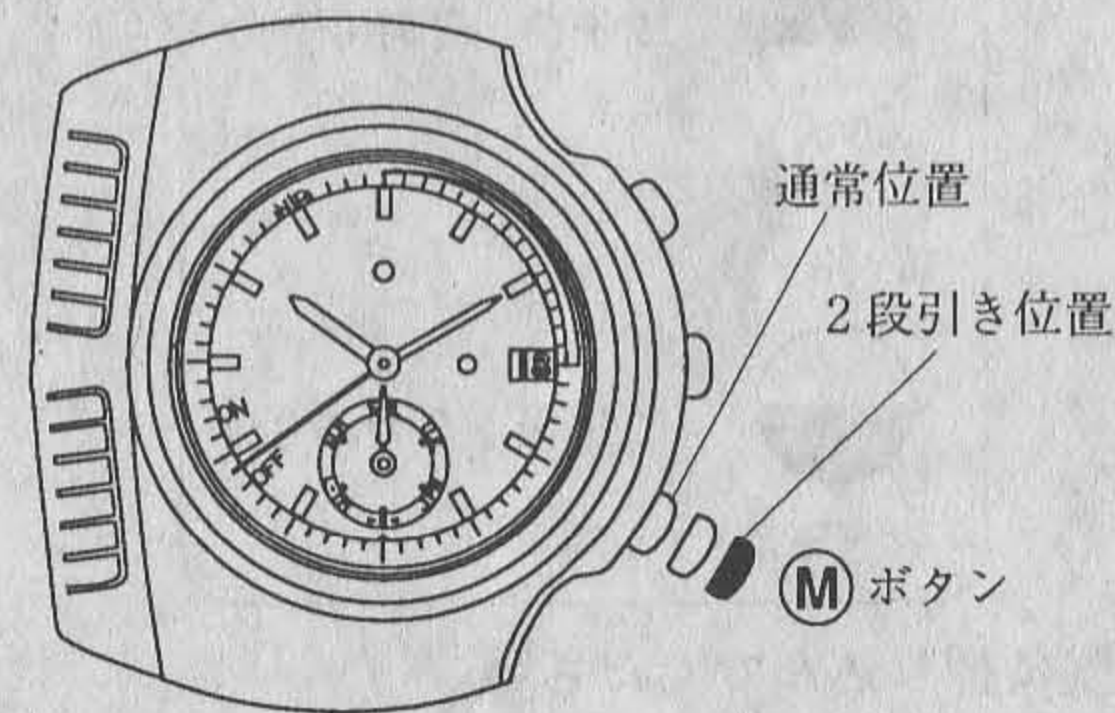
日本に於て、サマータイムに切り替えてから、受信を行うと時刻は標準時刻に修正されます。ただし、サマータイム確認は2回点滅のままとなります。この場合は、②の操作で標準時刻にセットし直してから、再度受信させて時刻を合わせ直してください。

F. 手動による時刻の修正方法

この時計は、受信ができない場合でも手操作による時刻合わせが可能です。

～時刻の合わせ方～

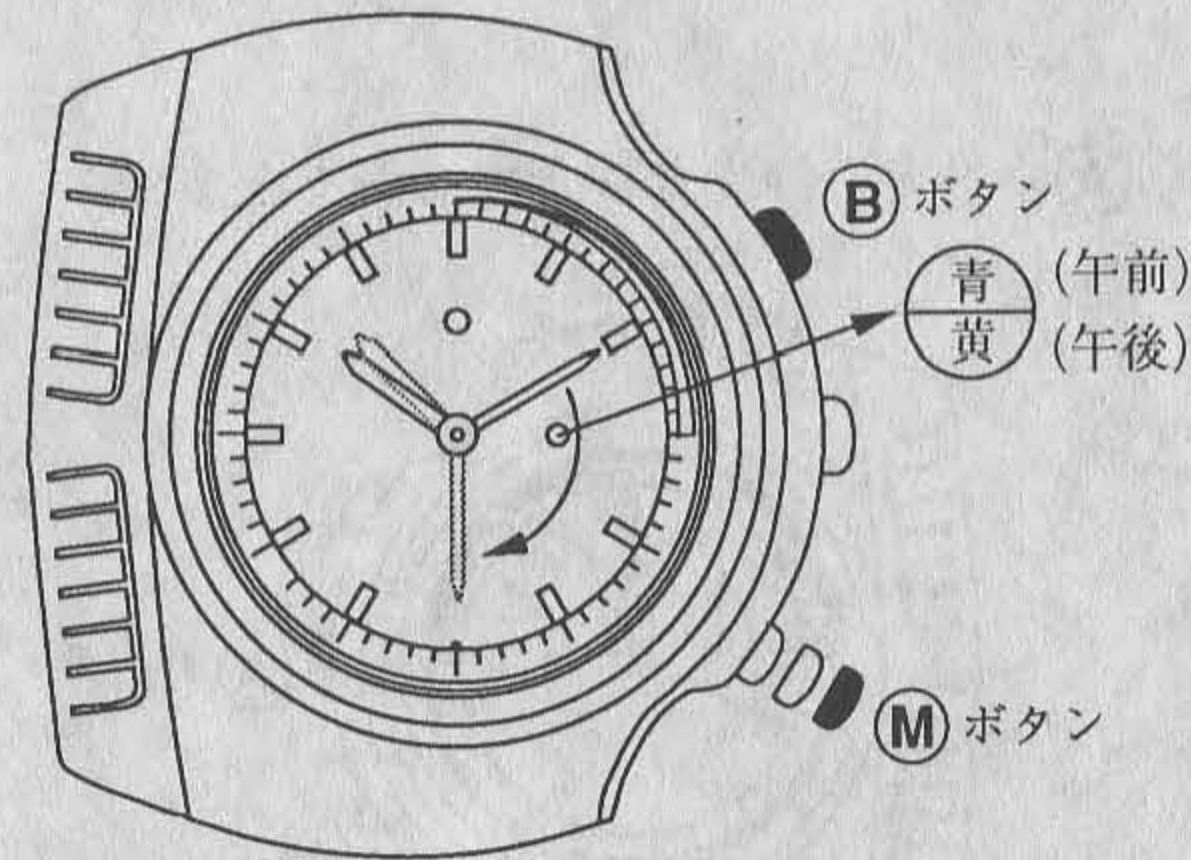
- ① **(M)** ボタンを2段引きしてください。
- ② **(A)** ボタンを押すと秒合わせができます。



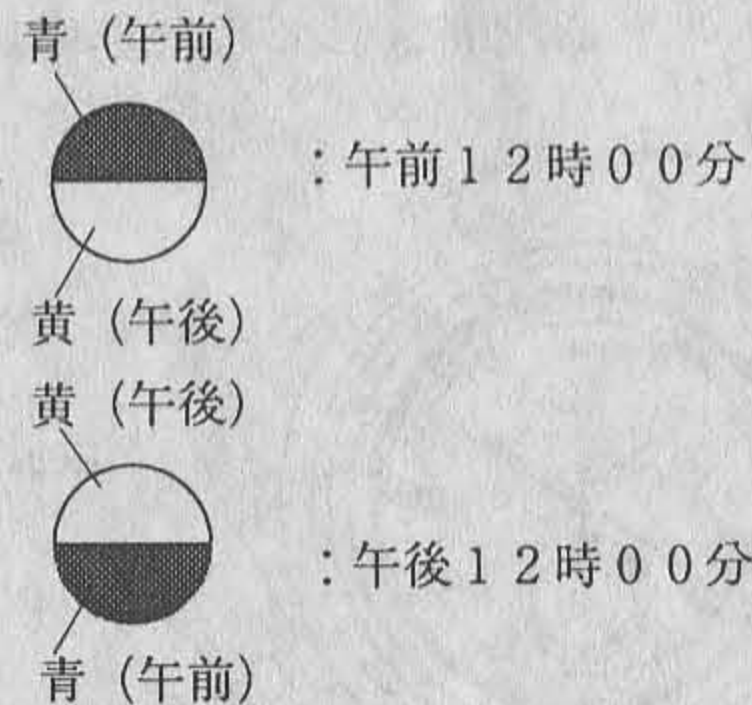
③**(B)** ボタンを押すと時分針合わせができます。

・時分針の回転方向は時計回り（右回り）のみです。

・午前／午後表示をする絵板に注意して時刻合わせを行ってください。



☆午前／午後表示の絵板の見方



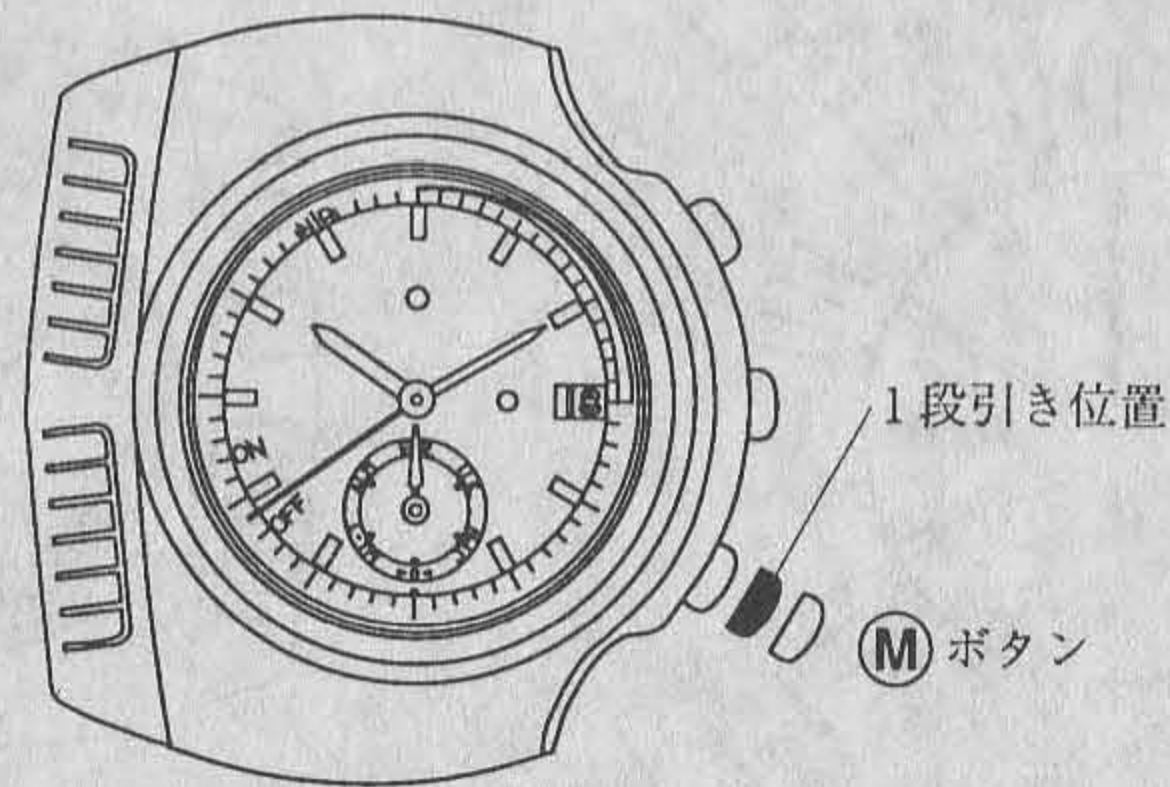
④セットが完了したら、**(M)** ボタンを通常位置に押し込んでください。

G. 手動によるカレンダーの修正方法

この時計は、受信ができない場合でも手操作によるカレンダー合わせが可能です。日本での受信では、カレンダー合わせは行われませんのでこの方法で修正してください。

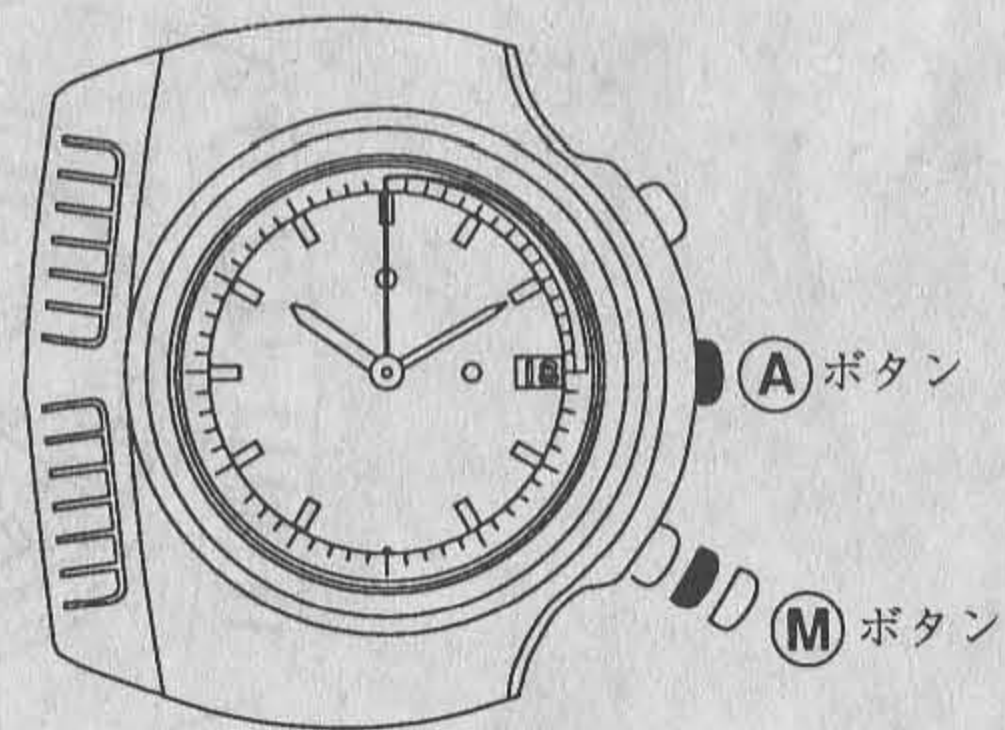
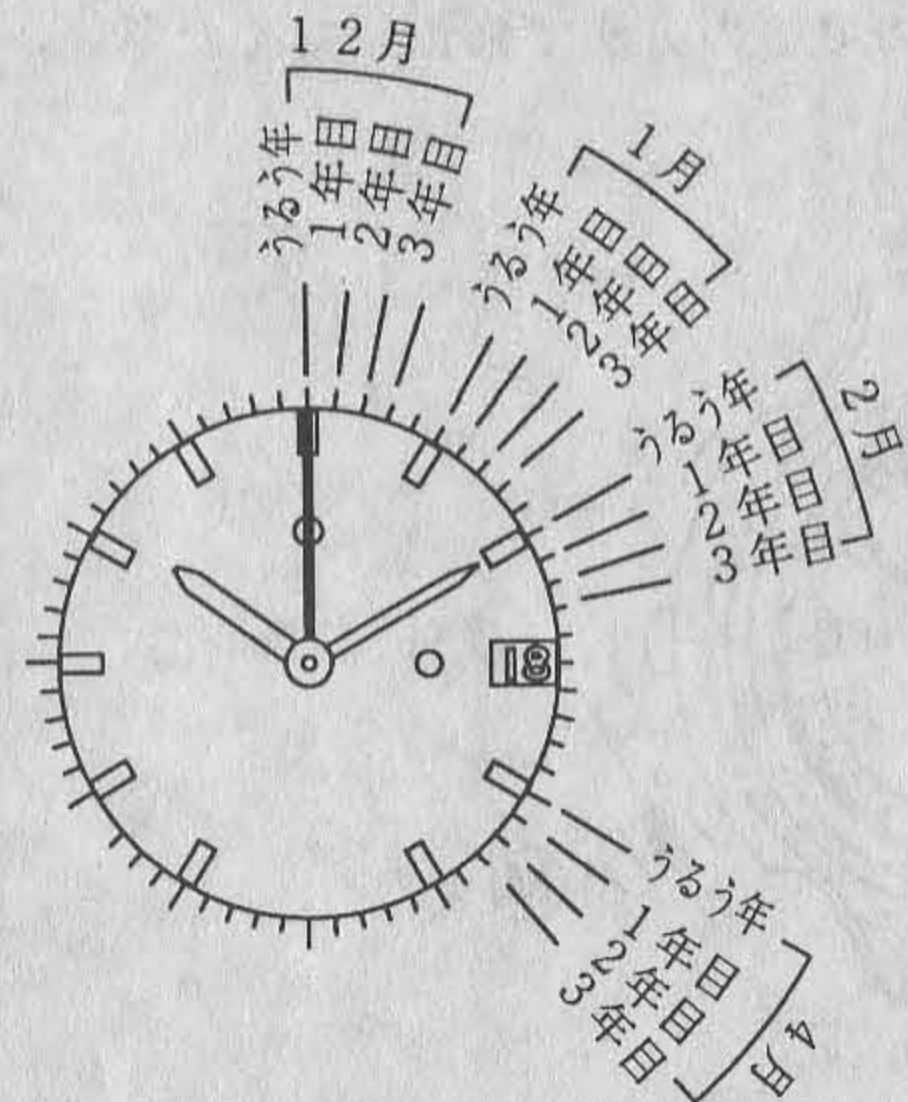
～カレンダーの合わせ方～

①**(M)** ボタンを1段引きしてください。



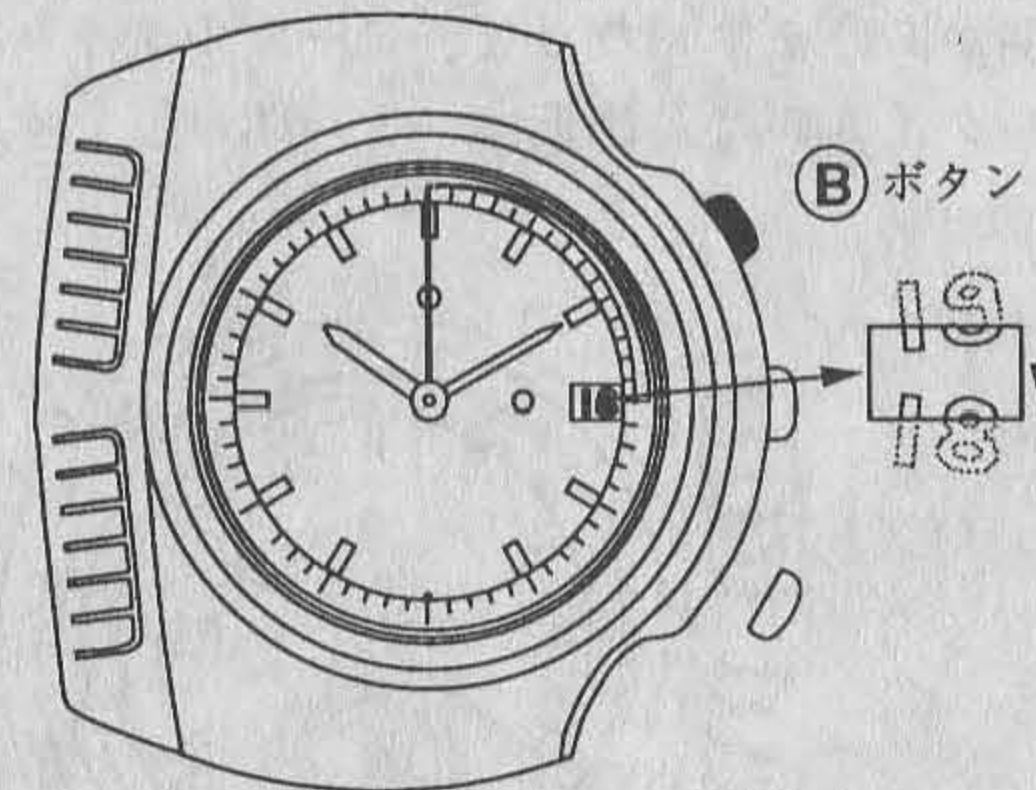
- ② **(A)** ボタンを押してください。うるう年から何年経っているかを確認して（下図参照）秒針を合わせてください。

（例）うるう年の12月ならば12時の位置に秒針を合わせます。



- ③ **(B)** ボタンを押して日付を合わせてください。

・カレンダーの回転方向は時計回り（右回り）のみです。



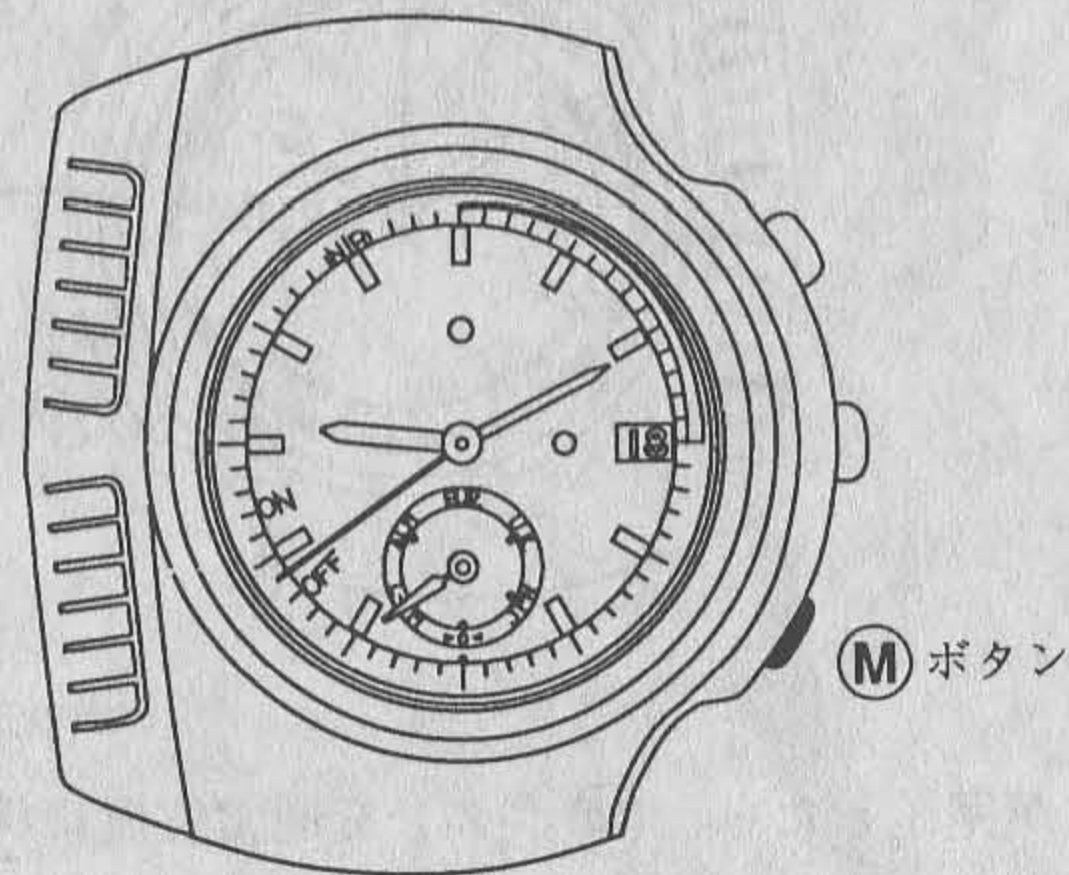
- ④ セットが完了したら、**(M)** ボタンを通常位置に押し込んでください。

H. ローカルタイムの使い方 (L-TM)

この時計は、3地域 (EUR/UK/JPN) の時刻の他に、さらに1ヶ国の時刻をセットしておけるローカルタイム機能があります。ただし、ローカルタイム機能には受信機能はありません。このローカルタイムの時差修正は、1時間単位です。

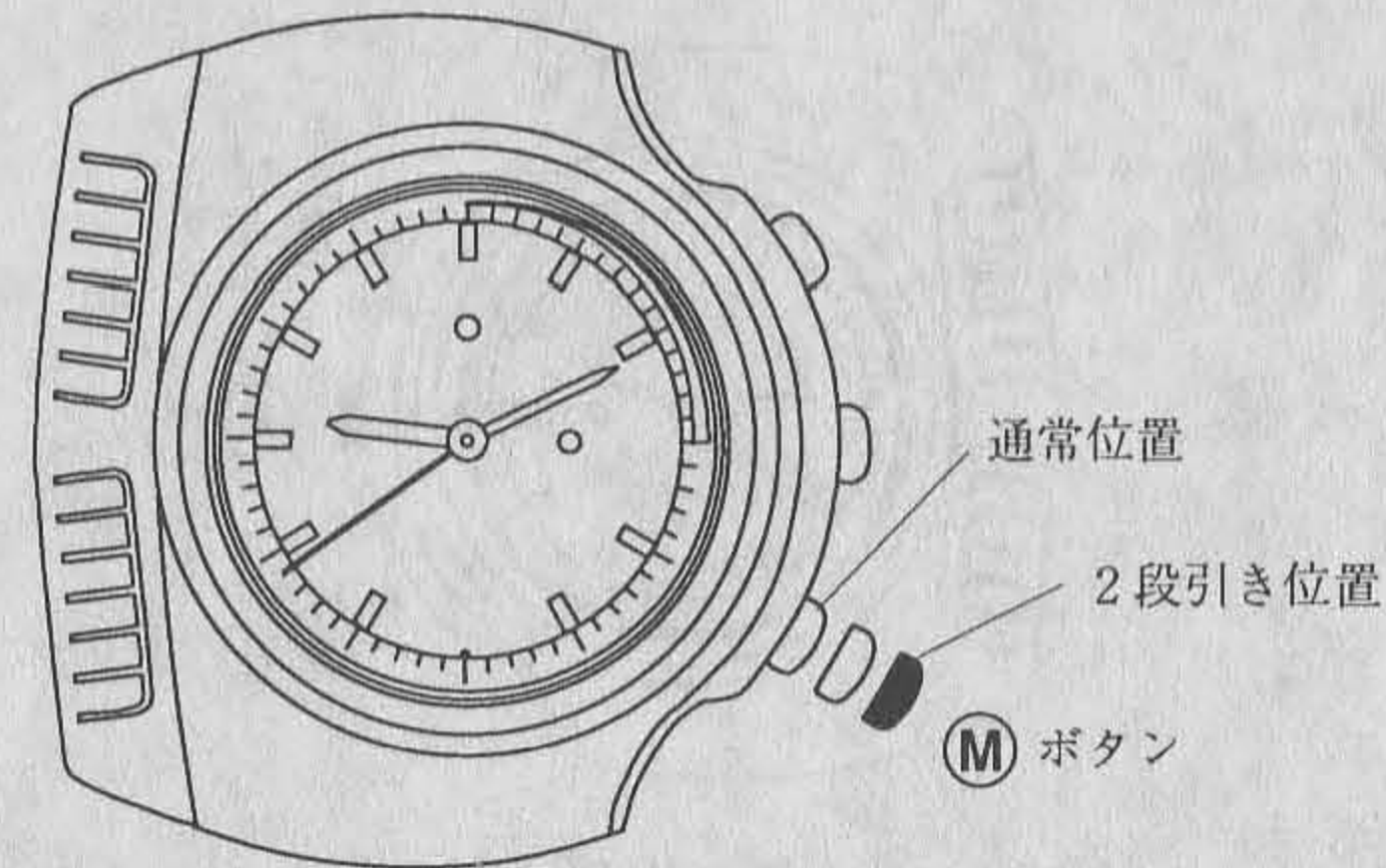
～ローカルタイムの使い方～

- ① **(M)** ボタンを押して、L-TMモードにしてください。



～ローカルタイムの合わせ方～

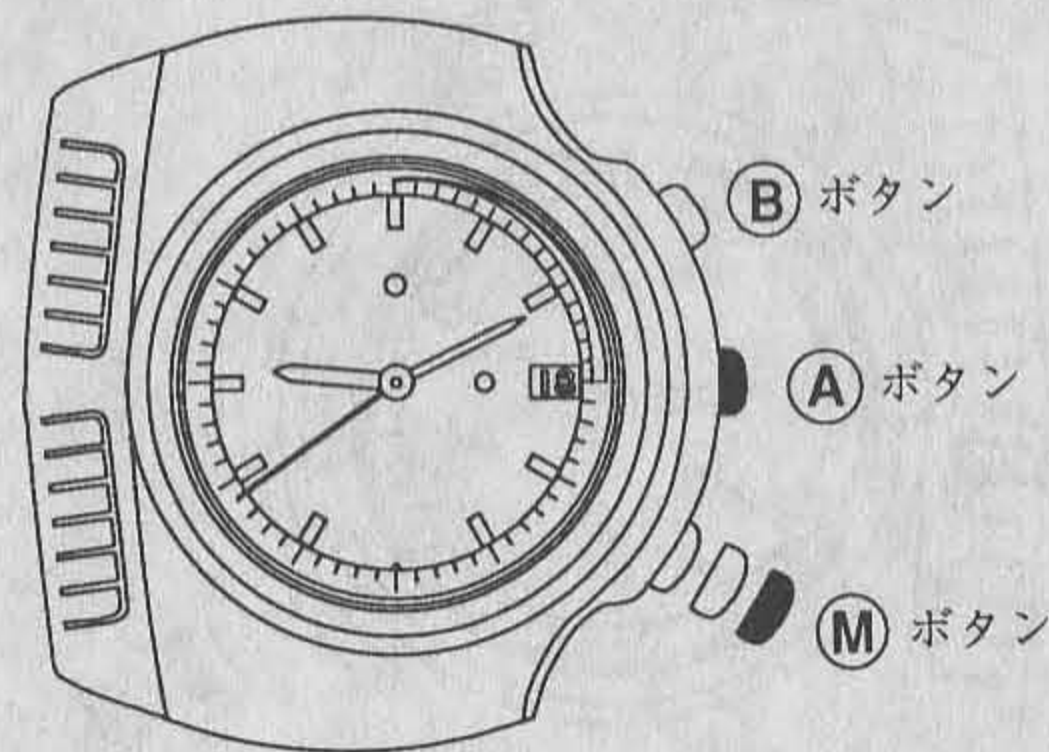
- ① **(M)** ボタンを押して、L-TMモードにしてください。
② **(M)** ボタンを2段引きしてください。



③ **(A)** ボタンを押すと反時計回り（左回り）で、時分針合わせができます。 **(B)** ボタン

を押すと時計回り（右回り）で、時分針合わせができます。

- ・ ローカルタイムの修正は1時間単位です。
- ・ 秒修正及びカレンダー修正はできません。



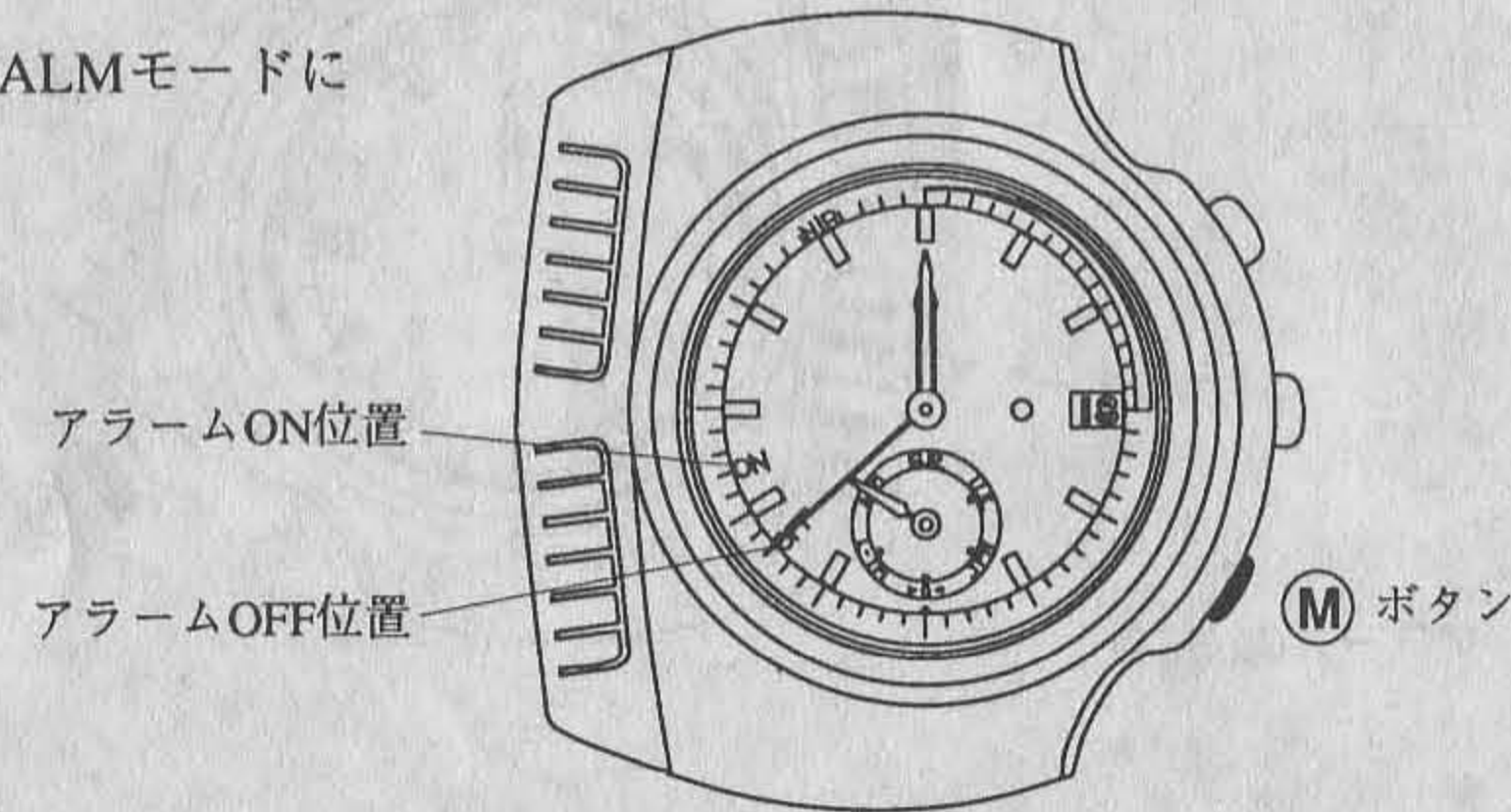
④ セットが完了したら、 **(M)** ボタンを通常位置に押し込んでください。

1. アラームの使い方 (ALM)

このアラームは、一度セットすると毎日同じ時刻に約15秒間鳴ります。表示されている地域の時刻にアラームが鳴ります。

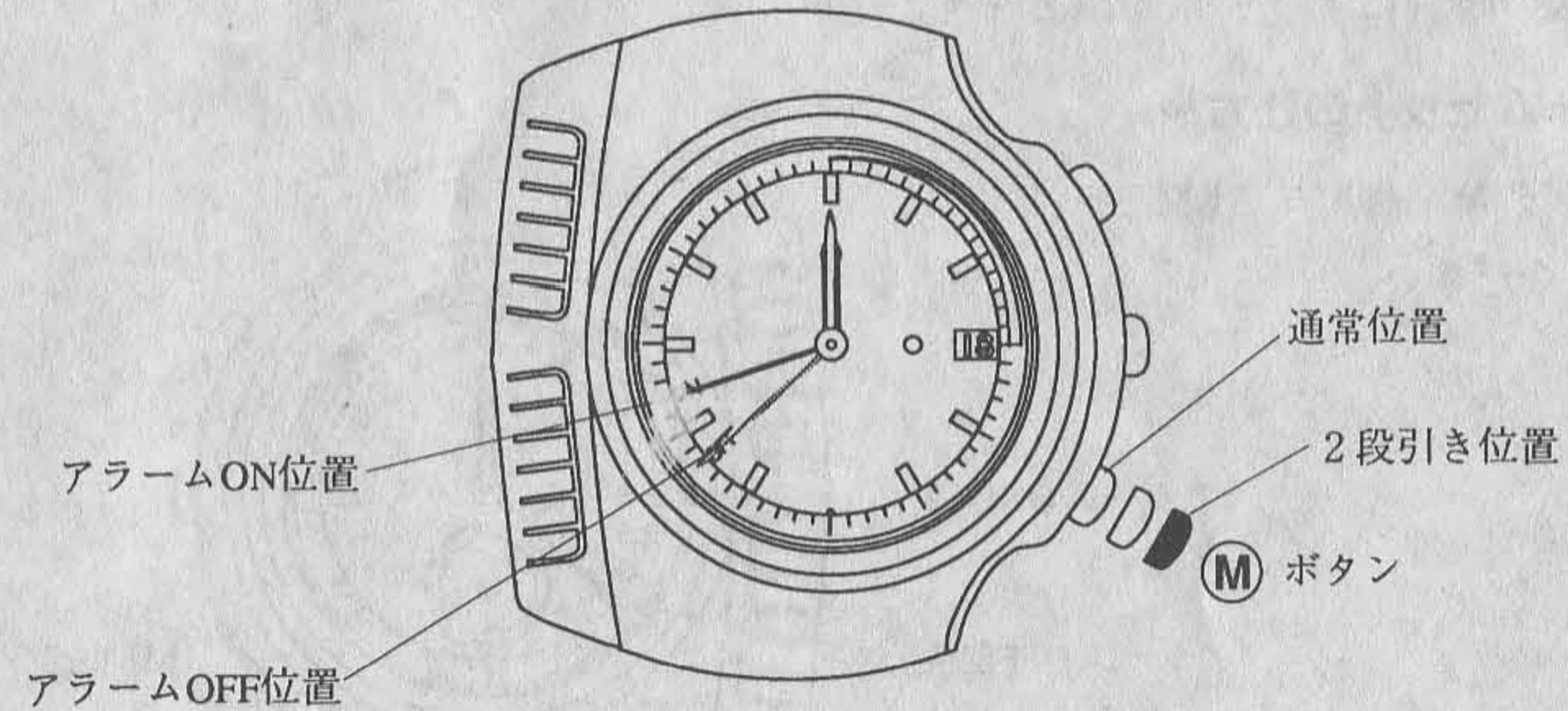
～アラームセットの仕方～

① **(M)** ボタンを押してALMモードにしてください。



② **(M)** ボタンを2段引きしてください。

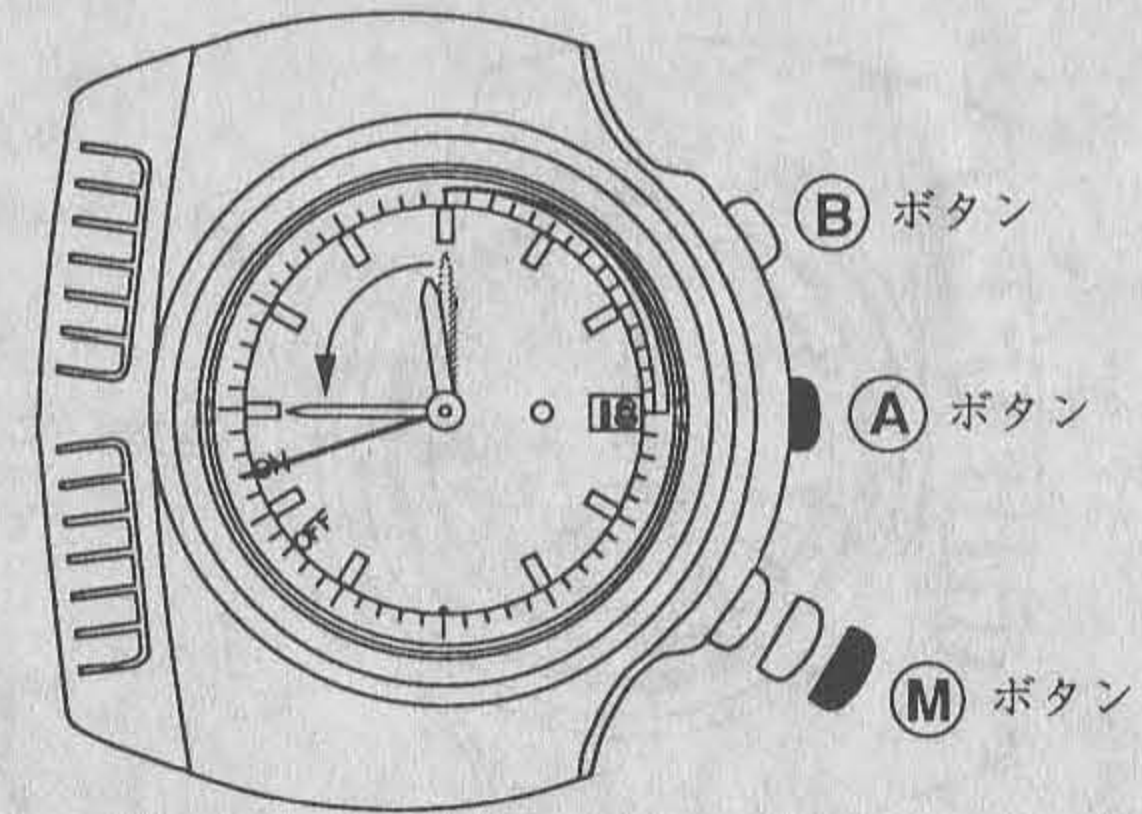
(M) ボタンを引くと、アラームは自動的にONとなります。



③ **(A)** ボタンを押すと反時計回り（左回り）で、時分針合わせができます。

(B) ボタンを押すと時計回り（右回り）で、時分針合わせができます。

・午前／午後表示をする絵板に注意して時刻合わせを行ってください。

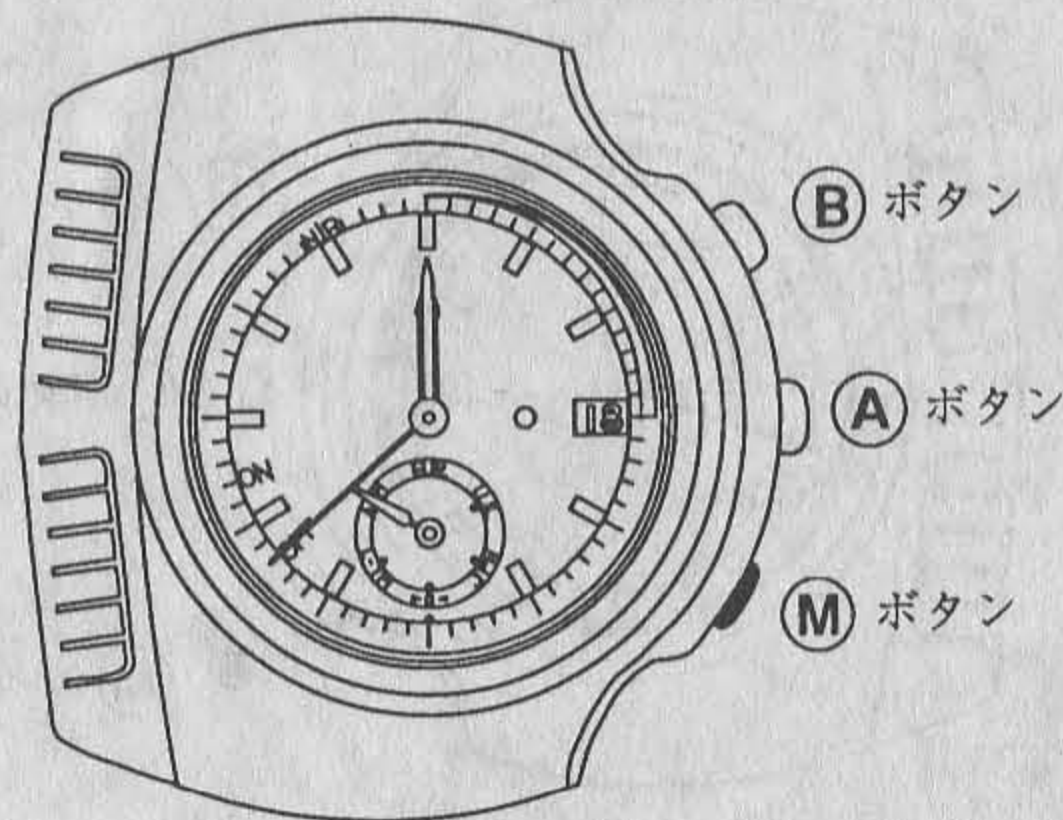


④ セットが完了したら、**(M)** ボタンを通常位置に押し込んでください。

～アラームの解除の仕方～

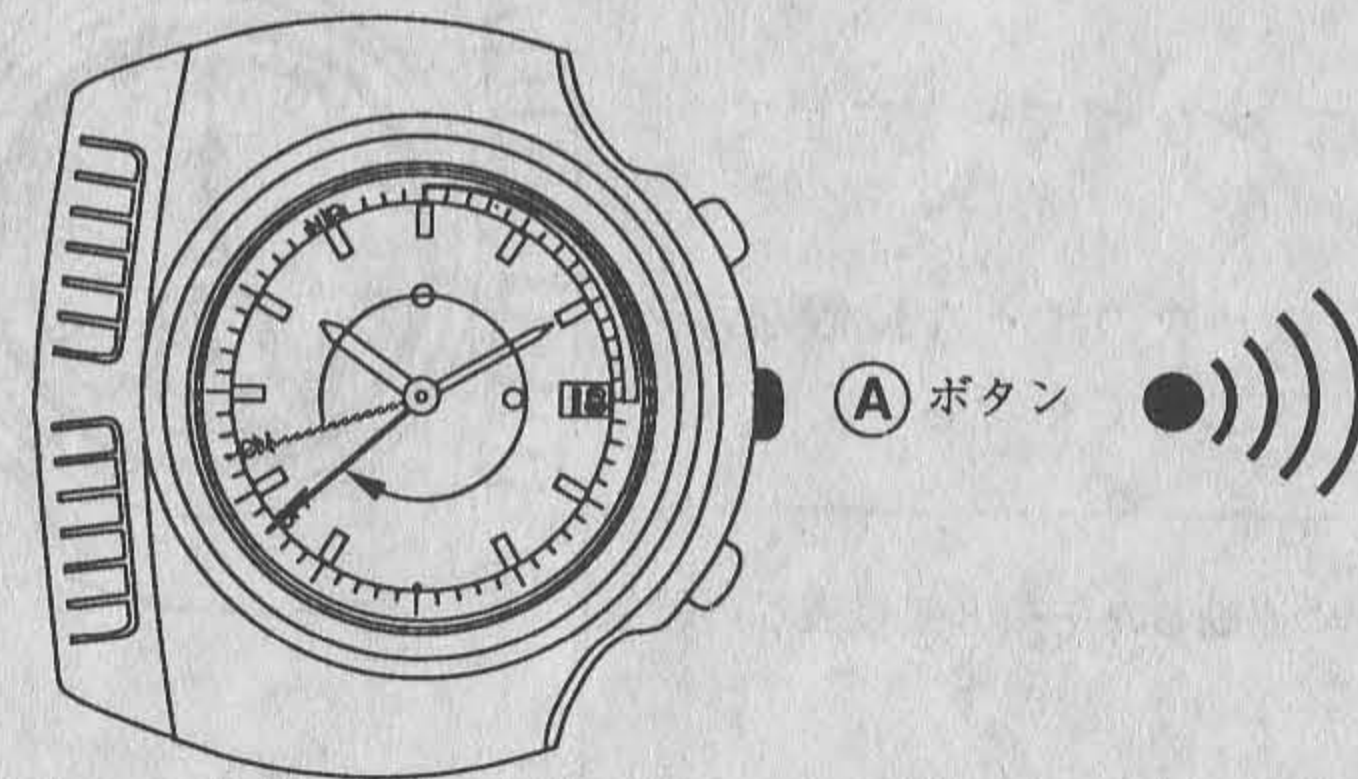
アラームの鳴り止めは、**(M)**、**(A)**、**(B)**いずれかのボタンを1回押してください。

- ① **(M)** ボタンを押してALMモードにしてください。



- ② **(A)** ボタンを押すとピッ！という確認音と共に秒針がONからOFFの表示に切り替わり、アラームが解除されます。もう一度、**(A)** ボタンを押すとアラームをONにすることができます。

・アラームのON/OFF切り替えは、時分針がモード切り替えの運針中でもできます。



J. ゼロ位置確認モードについて

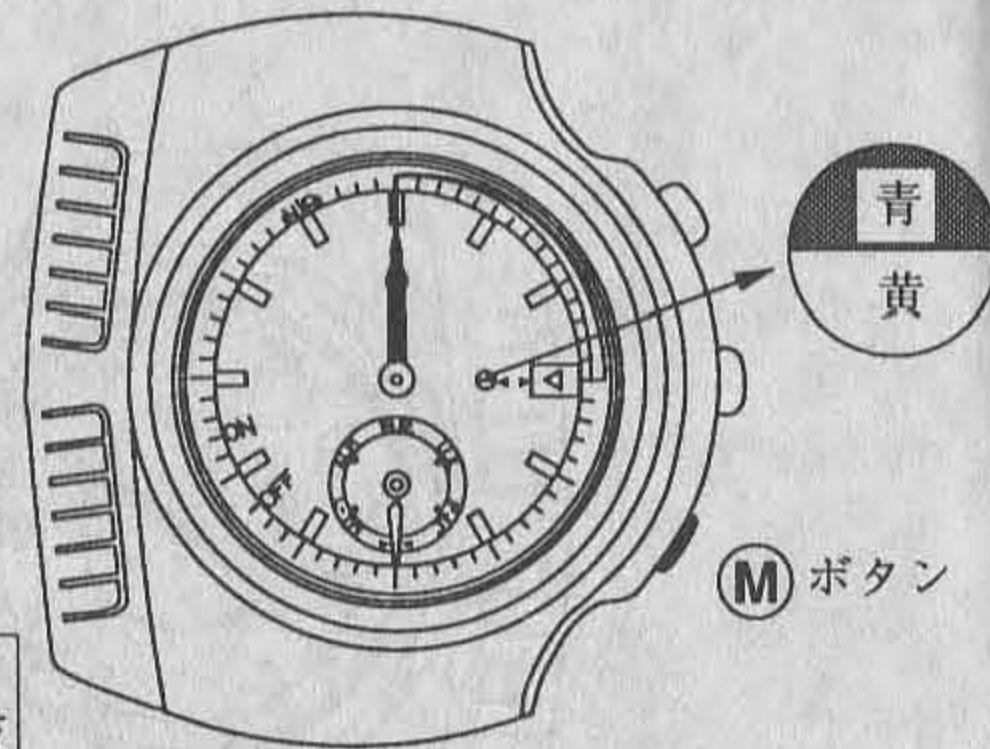
電池交換後又は時計に大きな衝撃等が加えられた際、必ずこのモードに於てこの時計のすべての基準となる針位置（ゼロ位置）確認を行ってください。

～確認の仕方～

- ① (M) ボタンを押して ► 0 ◀ モードにして
ください。

・ 各針／絵板／日板が次のような位置を示していることを確認してください。

- ・ 秒針…… 0 秒の位置
- ・ 時分針及び時分針に連動した午前／午後表示の絵板
…午前 12 時 00 分
- ・ 日板… ◀ マーク



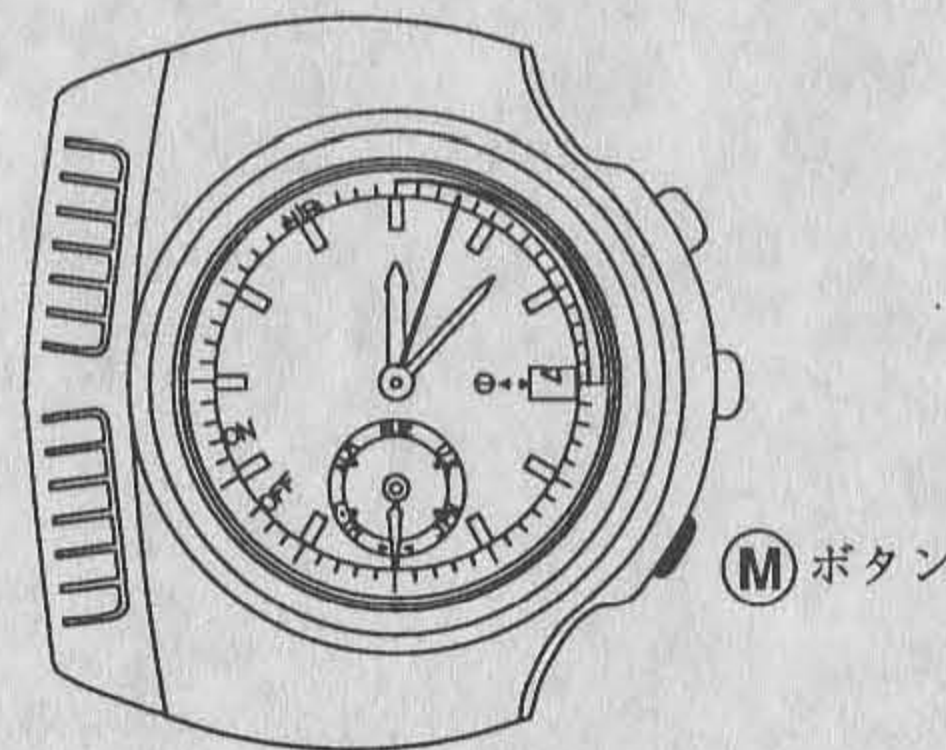
- ② 各針が正常な位置を示していたら、受信又は手動で時刻／カレンダー合わせをしてください。

もし、ゼロ位置が狂っているときは、次のページの方法でゼロ位置合わせをしてください。これをしておかないと受信しても正しい表示がされません。

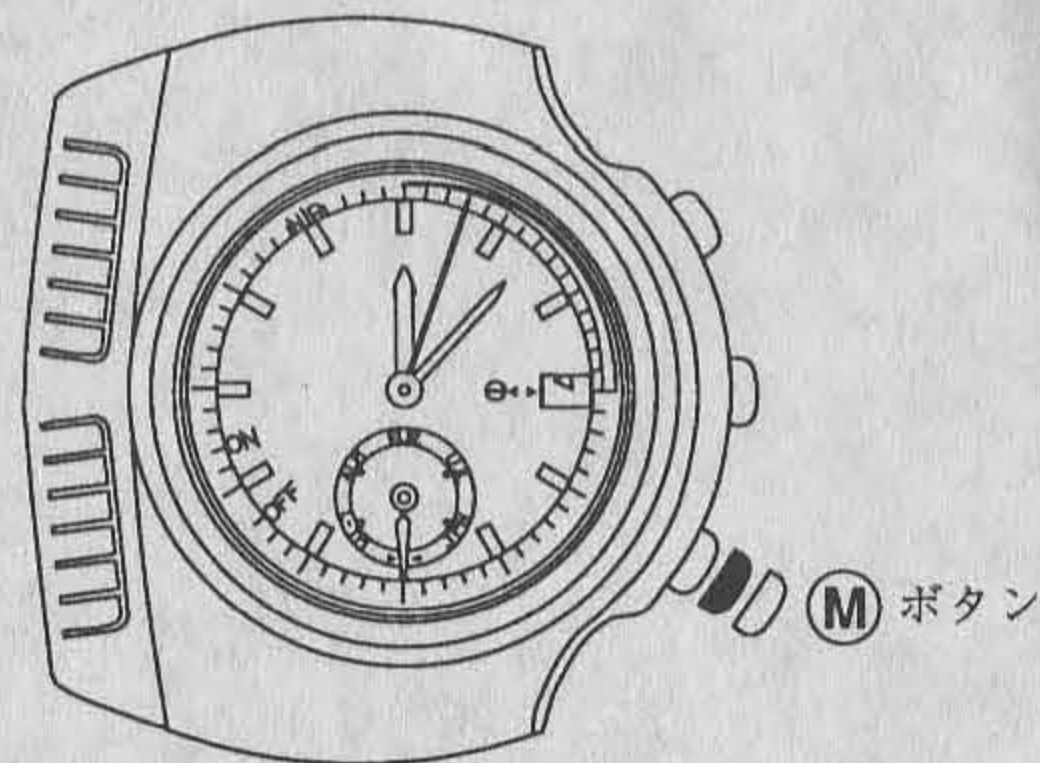
～ゼロ位置の合わせ方～

ゼロ位置確認を行ったときに、ゼロ位置が合っていないときは次の方法でゼロ位置を合わせてください。

- ① **M** ボタンを押して **▶ 0 ◀** モードにしてください。

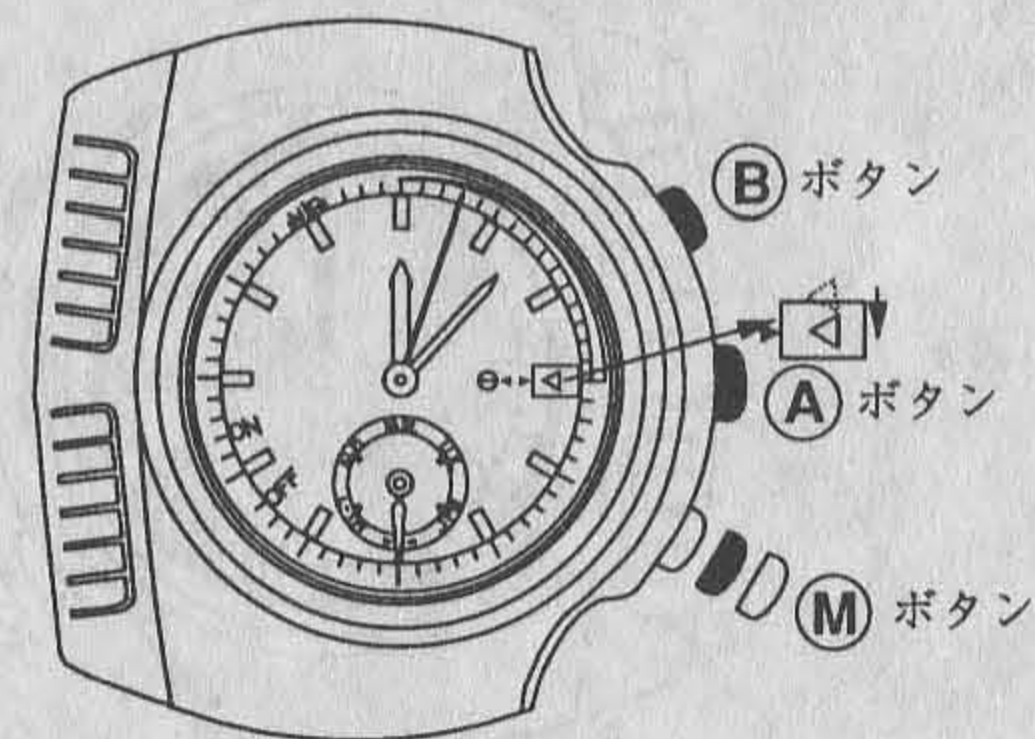


- ② **M** ボタンを1段引きしてください。

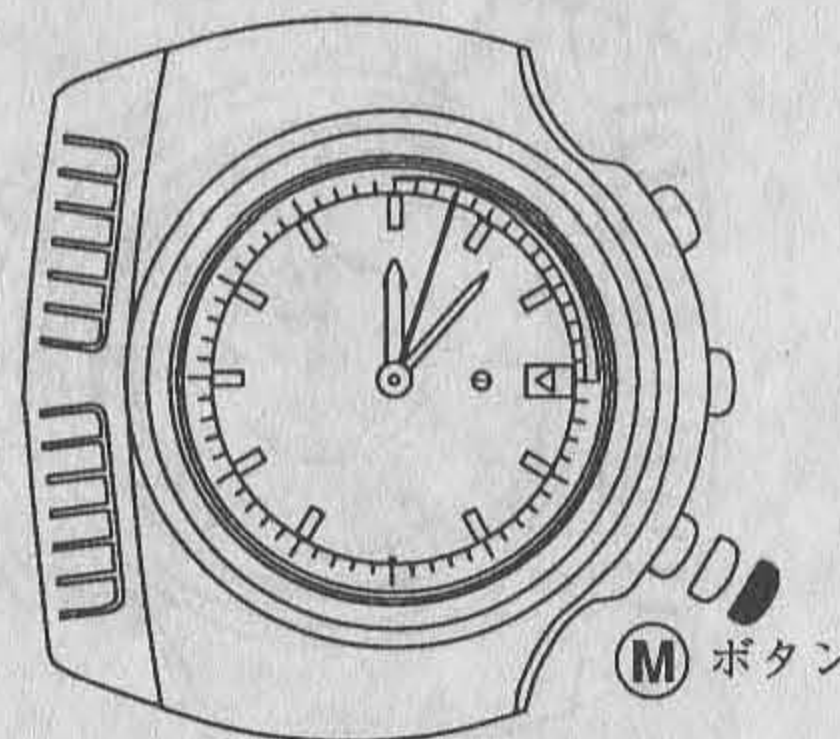


- ③ **A** ボタンを押すと反時計回りで、日板のゼロ位置 (◁) 合わせができます。

B ボタンを押すと時計回りで、日板のゼロ位置合わせができます。

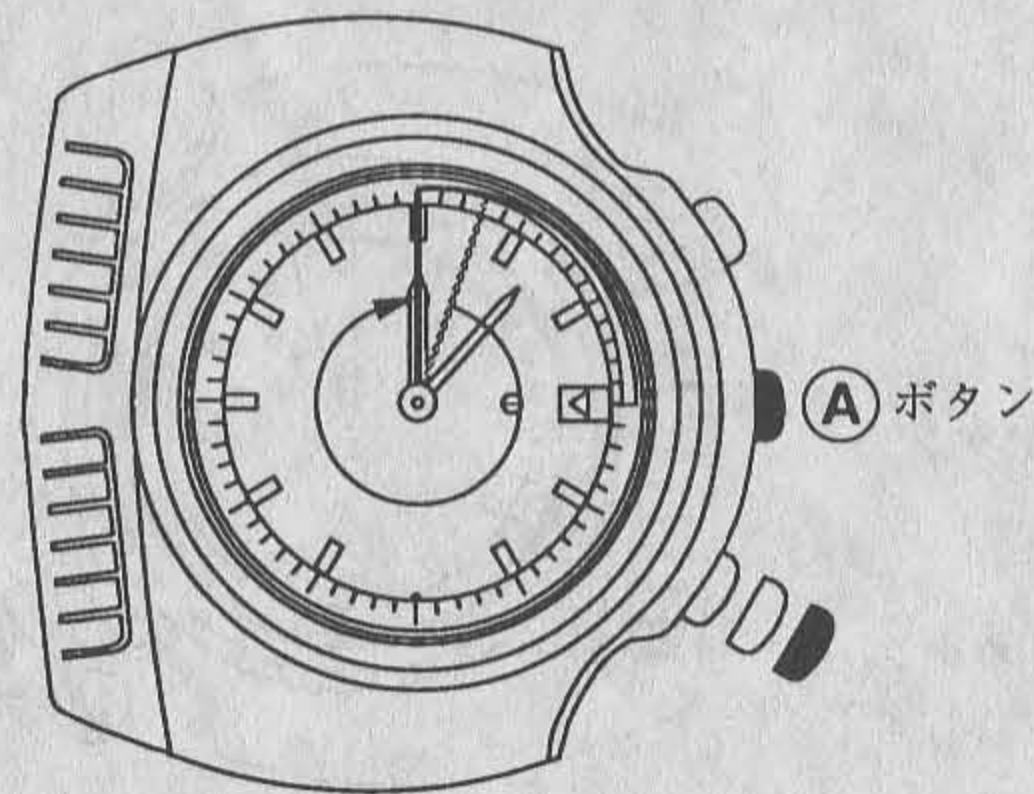


- ④ **M** ボタンをさらに引き出して、2段引きの位置にしてください。



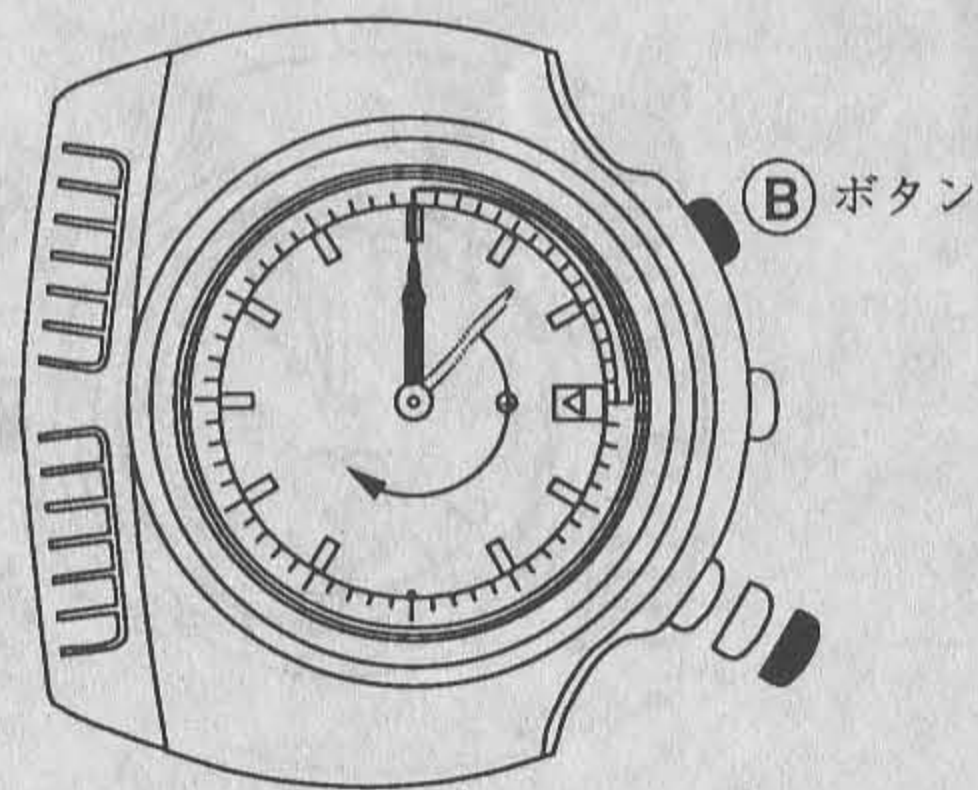
- ⑤ **(A)** ボタンを押すと、秒針のゼロ位置合わせができます。

・秒針の回転方向は時計回り（右回り）のみです。



- ⑥ **(B)** ボタンを押すと、時分針のゼロ位置合わせができます。

・時分針の回転方向は時計回り（右回り）のみです。
・絵板も連動しています。



- ⑦ セットが完了したら、**(M)** ボタンを通常位置に押し込んでください。以上のセットが終了したら、**(M)** ボタンを押して適切な地域モードへセットし、強制受信をしてください。

受信可能な地域ならば、数分後に現在時刻と日付けが表示されます。ただし、日本で受信した場合、日付けは自動で合わせることができません。

受信不可能な地域では、手操作により時刻及びカレンダー合わせをしてください。

K. 製品仕様

- ・ **型式**：多針表示式アナログクォーツウォッチ
- ・ **水晶振動数**：32,768 Hz
- ・ **時間精度**：常温（5℃～35℃）に於て平均月差±15秒以内
- ・ **作動温度範囲**：-10℃～60℃
- ・ **付加機能**：
 - ・ 自動受信機能：毎月偶数日は午前2時、奇数日は午前4時に自動的に受信を行い、時刻及び日付けの修正を行う（EUR、UK、JPNモード）
ただし、JPNモードで受信した場合のみ日付けの修正は行われません。
 - ・ 強制受信機能：（EUR、UK、JPNモード）
 - ・ 受信結果確認機能：（EUR、UK、JPNモード）
 - ・ 指向性チェック機能：（EUR、UK、JPNモード）
 - ・ サマータイムワンタッチ切り替え機能：（EUR、UK、JPN、L-TMモード）
 - ・ サマータイム確認機能：（EUR、UK、JPN、L-TMモード）

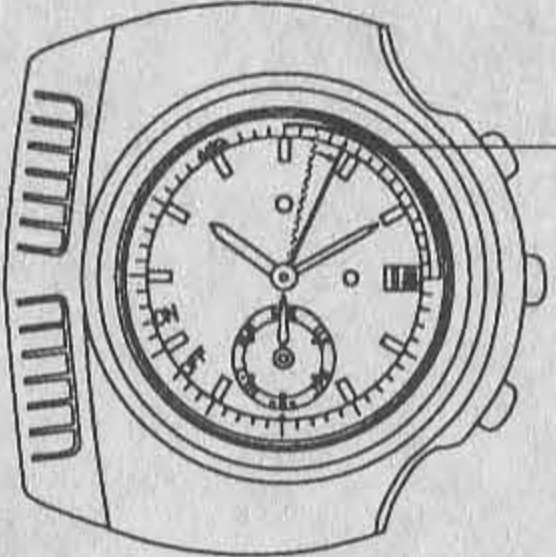
- ・ ローカルタイム機能：時差修正は1時間単位、秒修正、日付けの修正は不可

- ・ **使用電池**：280-206（電池コード CR2016）
- ・ **電池寿命**：約2年（自動受信1回／日、強制受信1回／週、アラーム1回／日）

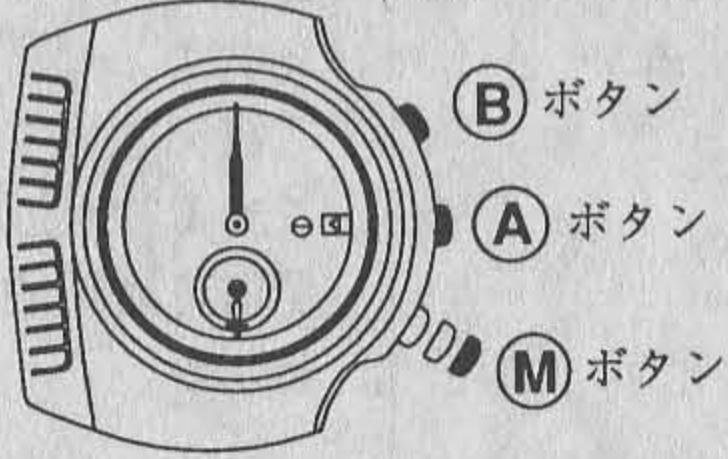
☆電池寿命は、各機能の使用頻度により異なります。

《仕様は改良のため、予告なく変更することがあります》

L. こんなときには…

こんなときには…	確認してみてください	対処方法
受信状態にならない	秒針が図のような動きをしていませんか 	図のような動きをしていたら、電池が残り少なくなっています。お買い上げ店または、シチズンクォーツ取り扱い店にお申し出ください。
受信できない	- 適切な地域モードが選択されていますか - この時計の受信可能な地域から外れていませんか	Ⓜ ボタンを押して適切な地域モードを選んでください。 - 取扱説明書の、[D-7. 受信可能地域の目安] を参照ください。

こんなときには…	確認してみてください	対処方法
受信できない (受信可能であった場所が全く受信できなくなった)	電波を遮蔽する物やノイズを発生させる物が近くにありませんか	- 取扱説明書の、[D-6. 受信が困難な場所] 及び、[D-8. 上手に受信するためには] を参照してください。 - 部屋の模様替え等による、受信環境の変化も確認してみてください。
受信されたはずなのに現在時刻と合っていない	- 時計のゼロ位置確認モードに於て各針が正しいゼロ位置を示していますか。 - 電波を遮蔽する物やノイズを発生させる物が近くにありませんか - 受信可能地域スレスレではありませんか	- 取扱説明書の、[J. ゼロ位置確認モード] で各針のゼロ位置をきちんと合わせてください。 - 取扱説明書の、[D-6. 受信が困難な場所について] を参照のうえ、再度受信をやり直してみてください。

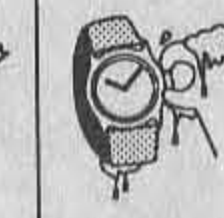
こんなときには…	確認してみてください	対処方法
時計が、普段にない異常な動き、表示をしている	・針が回転したまま停止しない ・急になんの予告もなく止ってしまった ・プッシュボタンを押しても機能が働かない ・その他、普段にない動きをしている (電池寿命切れ予告の秒運針を除く)	① (M) ボタンを押して ► 0 ◀ モードにします ② (M) ボタンを2段引きしてください。 ③ (A)、(B) ボタンを同時に2秒以上押してから離します。 ④ (M) ボタンを通常位置に戻してください。 確認音と同時にLEDが1回点滅します。次に、時、分、秒、日板がデモ運針します。(オールリセット完了) 注意! 上記の操作を行ったあとは、各針のゼロ位置合わせと、時刻カレンダー合わせを行ってください。 

以上のような現象が、対処方法より不具合が解消されない場合はお買い上げ店または、シチズンクォーツ取り扱い店にお申し出ください。

M. 取扱い上のご注意

※リュウズは常に押し込んでご使用ください。

・防水性能……時計の文字板、および裏ブタの防水性能表示をご確認の上、下図を参照ください。

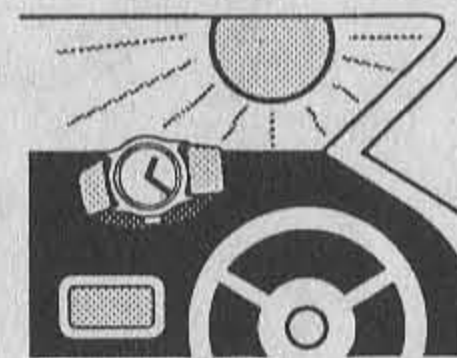
		表 示		使用 例				
		文字板	ケース	 水圧のかからない程度の「水のかかる」使用。 (洗顔、雨等)	 水仕事や、一般水泳に使用。	 スキンドイビング、マリンスポーツに使用。	 空気ポンベを使用するスキューバ潜水に使用。	 水滴がついた状態でのリュウズの操作。
日常生活用 防水	3気圧 防水	無表示	WATER RESIST (ANT)	○	×	×	×	×
日常生活用 強化防水	5気圧 防水	WATER RESIST WR***/**bar 又は、無表示	WATER RESIST (ANT)	○	○	×	×	×
	20気圧 防水 10気圧 防水			○	○	○	×	×

- ・海水に浸したときや多量の汗をかいた後は、真水で良く拭き取ってください。
- ・皮革ベルトは材質の特性上、水にぬれると耐久性に影響がでる場合があります。
- ・時計内部にも多少の湿度がありますので、外気の湿度が時計内部より低い時、ガラス面にくもりがでる場合があります。
- ・くもりが一時的なものであれば支障はありませんが、長時間消えない時は、お買い上げ店又はシチズン取扱い店に相談ください。

1. バンドについて

- a. 通常、陸上で使用する時には通気性を良くするため、バンドに指1本入る程度の余裕を持たせて使用してください。
- b. バンドにヒビ等の異常がある時は、そのまま使用せず、必ず新しいバンドと交換してください。
- c. バンド交換の際は、時計本体とバンドをつなぐバネ棒も一緒に交換してください。

2. 温度について



直射日光にさらしたり、高温になる所に長い間置かないでください。

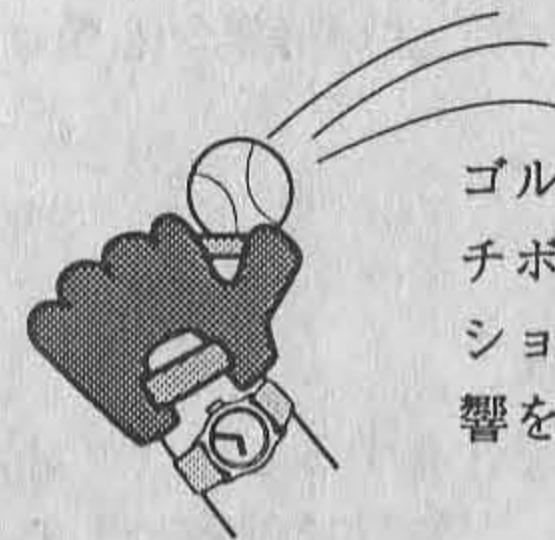
*故障の原因になったり電池寿命が短くなります。



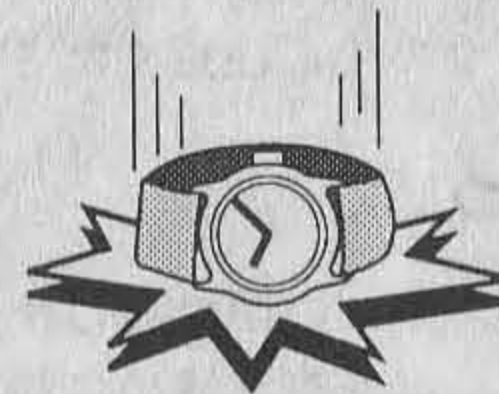
寒い所に長く置かないでください。

*多少遅れが生ずることがありますが腕につければもとの精度にもどります。

3. ショックについて

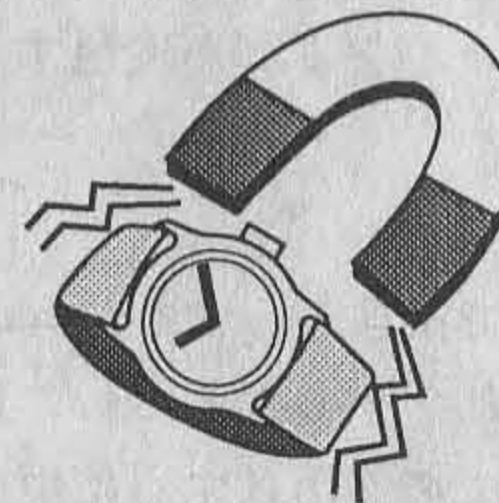


ゴルフやキャッチボール程度のショックでは影響を受けません。



床面へ落とすなどの激しいショックはあたえないでください。

4. 磁気について



この時計は耐磁性能をもたせていますので、通常でのご使用では問題はありません。ただし、磁石付の健康器具等強力な磁気をもつ製品や環境で使用しますと、一時的に性能が影響を受けますのでご注意ください。

5. 静電気について

時計に使われているIC(集積回路)は静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けた場合、表示が狂うことが有りますのでご注意ください。

6. 化学薬品・ガス・水銀について



化学薬品・ガスの中でのご使用はおさげください。

シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・トイレ用洗剤・接着剤等)が時計に付着しますと変色、溶解、ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には充分注意してください。また体温計等に使用されている水銀に触れたりしますとケース・文字板・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

7. 時計は清潔に

- ケース・ガラスについた汚れや水分は柔らかい布で拭きとってください。
- バンド肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れをそのままにしておきますと体質上皮膚の弱い方はかぶれる場合があります。その状態での使用はすぐに中止してください。

- 又、ワイシャツなどの衣類の袖口を鉄サビによるシミで汚すことがありますので、サビの原因になる汗や埃などの気づかぬ汚れに対してもご注意の上常に清潔にしてご使用ください。

- 時々汚れを取りご使用ください。

ご使用の間には、ケースとリュウズの間にゴミや汚れが付着して、リュウズが引き出しにくくなる場合があります。リュウズが押し込まれた状態で時々リュウズを空回りさせてください。

<金属バンド>

石けん水等をつけた歯ブラシで部分洗いしてください。

<革バンド>

表側は柔らかい乾いた布で軽く拭き取り裏側はアルコールでしめした布で汚れを取ってください。

<プラスチックバンド/ゴムバンド>

水で汚れを洗い落としてください。

(溶剤類の使用は、変質の恐れがありますので避けてください。)

8. 保管について

長時間ご使用にならない時は、汗・汚れ・水分等をよく拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。又、電池寿命切れの電池を入れたまま長期間放置しますと、電池の漏液により機械部品が損傷する場合がありますので、ご注意ください。

N. 保証とアフターサービス

1. 保証について

正常なご使用状態で、保証期間中に万一故障が生じた場合には、別紙の保証書に従い、無料修理致します。

2. 修理用部品の保有期間について

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・リュウズ等の外装部分におきましては、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3. 修理可能期間について

通常のご使用であれば、保証期間を過ぎても、当社の修理用部品の保有期間中は有料修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なりますので、修理の可否については現品ご持参のうえ販売店でよくご相談ください。尚、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

4. ご転居、ご贈答品の場合

保証期間中にご転居、又はご贈答品のためにお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、お近くの当社サービスセンターにご相談ください。

5. 長くご愛用いただくために定期的な診断と部品の交換を行なってください。

- 部品交換は、お買い上げ店、又はシチズンクォーツ取扱い店にお申し出ください。
- 部品交換の際は、交換だけでなく他の部品の点検、又は修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金等、詳しくお買い上げ店、又はシチズンクォーツ取扱い店にご相談ください。
- 部品交換をされる場合は、シチズンの純正部品を使用とご指定ください。

＜防水時計専用部品の交換について＞

防水時計の場合、防水性を保つために1～2年毎にお買い上げ店、又はシチズンクォーツ取扱い店で診断していただき、パッキン・ガラス・リュウズなどの交換を行なってください。

＜電池交換について＞

- この時計は新しい電池を組み込み後、約2年間安定した精度を維持します。
- お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後2年に満たないうちに寿命が切れることがありますのでご了承ください。

- 電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがありますのでお早めに電池交換してください。
- 電池交換は必ずお買い上げ店、又はシチズンクォーツ取り扱い店にお申し出ください。その際、所定の性能を保つためにも必ずシチズン純正電池とご指定ください。
- お買い上げの時計に、組み込まれている電池はモニター用ですので、時計の価格には含まれません。保証期間内であっても電池交換は有料となります。

＜電池の取り扱いについて＞

幼児の手の届かない所に置いてください。万一電池を飲み込んだ場合には直ちに医師と相談してください。

6. 一部商品にはメーカーで電池交換および修理を行なっているものがあります。詳しくはお買い上げ店、又はシチズン取扱い店にご相談ください。

7. その他お問い合わせについて

保証や修理、その他不明の点がございましたらお買い上げ店、又は最寄りの当社サービスセンターにご相談ください。